

卒業研究

(文体練習)

日本近代文学 柴田勝二ゼミ
外国語学部 南・西アジア課程 トルコ語専攻
8507260 大村真央

(文体練習) 目次

0 素	35 客観	73 中年男性のぼやき
1 ひらがな	36 古文風	74 エッセイ
2 カタカナ	37 お嬢様	75 主婦の本音
3 ローマ字	38 事情聴取	76 メール
4 ギャル文字	39 一息で	77 川柳
5 2ちゃんねる	40 カップルの会話	78 テスト I
6 Twitter	41 新聞	79 テスト II
7 100 字	42 心の中の声	80 テスト III
8 なんか	43 分離	81 ことわざ
9 え～	44 女子高生のブログ	82 映画予告
10 英訳	45 動詞の抜き出し	83 新刊案内
11 重複	46 動作	84 カタコト
12 アメリカ人きどり	47 らしい	85 略式
13 短歌	48 お客様サービスセンター	86 赤ちゃん
14 某	49 反語	87 落語
15 とても	50 戯曲	88 直喩
16 星新一調	51 合成語	89 隠喩
17 オノマトペ	52 津軽の人	90 文法の訓練
18 誤変換	53 名古屋の人	91 スパイごっこ
19 ～じゃないですか	54 京都の人	92 名
20 レストランにて	55 高知の人	93 体言止め
21 はんたい	56 博多の人	94 過去の人
22 漢文風	57 メモ	95 2010 年の人
23 和製英語	58 女子大生の mixi 日記	96 ルール
24 数値	59 大正ロマン	97 ていねいに
25 漫才	60 ロールプレイングゲーム	98 注釈
26 あいうえお作文	61 武士	99 絵本『これはのみのびこ』調
27 田舎の母への手紙	62 七五調	
28 なぜかよめてしまう	63 定義	
29 小学生の日記	64 目次	
30 類義語	65 軍人	
31 別の視点から I	66 TO DO LIST	
32 別の視点から II	67 童話	
33 別の視点から III	68 グルメナビ	
34 別の視点から IV	69 ラジオ	
	70 占い	
	71 今日のおじいさん	
	72 業界人	

0. 素

よく晴れた日の午後、昼食には遅い時間。買い物の帰りにいつものカフェに寄る。小さいけれどおいしい料理とデザートが自慢の店。店内には音楽が流れている。お客さんは他にひとりだけ。花が飾られたテーブル席に座っていた。既に食事は済ませたらしく、食後のコーヒーを飲みながら本を読んでいる。カウンターの端から二番目の席に座る。日替わりメニューは 3 種類。注文したのはペペロンチーノとジュース。数分後、注文の品がでてきた。いつものとおりおいしい。シェフにおいしきの秘密を聞いてみるが、「内緒」とかわされる。しばらくすると、男性客がやってきた。二人組で、ひとは 24 歳くらいの長身。帽子をかぶっている。もうひとはやや年上の 30 歳くらいで眼鏡をかけており少し太っている。二人は仕事仲間らしく、長身の方が太っている方になにやら相談しているようだった。

1. ひらがな

よくはれたひのごご、ちゅうしょくにはおせいじかん。かいものがえりにいつものかふえによる。ちいさいけれどおいしいりょうりとでざあとがじまんのみせ。てんないにはおんがくがながれている。おきやくさんはほかにひとりだけ。はながかざられたてえぶるせきにすわっていた。すでにしょくじはすませたらしく、しょくごのこおひいをのみながらほんをよんでいる。かうんたあのはしからにばんめのせきにすわる。ひがわりめにゆうは 3 しゆるい。ちゅうもんしたのはペペろんちいのとじゅうす。すうふんご、ちゅうもんのしながでてきた。いつものとおりおいしい。しえふにおいしきのひみつをきいてみるが、「ないしょ」とかわされる。しばらくすると、だんせいきやくがやってきた。ふたりぐみで、ひとは 24 さいくらいのちょうしん。ぼうしをかぶっている。もうひとはややとしうえの 30 さいくらいでめがねをかけておりすこしふとっている。ふたりはしごとなかまらしく、ちょうしんのほうがふとっているほうになにやらそうだんしているようだった。

2. カタカナ

ヨクハレタヒノゴゴ、チュウショクニハオソイジカン。カイモノガエリニイツモノカフェニヨル。チイサイケレドオイシイリョウリトデザートガジマンノミセ。テンナイニハオンガクガナガレテイル。オキヤクサンハホカニヒトリダケ。ハナガカザラレタテーブルセキニスワッテイタ。スデニショクジハスマセタラシク、ショクゴノコーヒーヲノミナガラホンヲヨンデイル。カウンターノハシカラニバンメノセキニスワル。ヒガワリメニューハ 3 シュルイ。チュウモンシタノハペペロンチーノトジュース。スウフンゴ、チュウモンノシナガデテキタ。イツモノトオリオイシイ。シェフニオイシサノヒミツヲキイテミルガ、「ナ

イショ」トカワサレル。シバラクスルト、ダンセイキヤクガヤッテキタ。フタリグミデ、ヒトリハ24サイクライノチョウシン。ボウシヲカブツテイル。モウヒトリハヤヤトシウエノ30サイクライデメガネヲカケテオリスコシフトツテイル。フタリハシゴトナカマラシク、チョウシンノハウガフトツテイルハウニナニヤラソウダンシテイルヨウダッタ。

3. ローマ字

Yoku hareta hino gogo, chuushokuniha osoi jikan.

Kaimonogaerini itsumono kafeni yoru.

Chiisai keredo oishii ryourito dezaatoga jimanno mise.

Tennainiha ongakuga nagarete iru.

Okyakusanha hokani hitoridake.

Hanaga kazarareta teeburusekini suwatte ita.

Sudeni shokujihashimaseta rashiku, shokugono koohiwo nominagara honwo yonde iru.

Kauntaano hashikara nibanmeno sekini suwaru.

Higawari menyuuha 3shurui.

Chuumonshitanoha peperonchiino to juusu.

Suufungo, chuumonno shinaga dete kita.

Itsumono toori oishii.

Shefuni oishisano himitsuwo kiite miruga,"naisho" to kawasareru.

Shibarakusuruto, danseikyakuga yatte kita.

Futarigumide, hitoriha 24saikuraino choushin.

Boushiwo kabutte iru.

Mou hitoriha yaya toshiueno 30saikuraide meganewo kakete ori sukoshi futotte iru.

Futariha shigotonakamarashiku, choushinno houga futotte iru houni naniyara soudanshite iruyoudatta.

4. ギャル文字

よく日青れた日@午後、昼食にレよえ犀レ、日寺間。

買レ、牛勿@リ帚レ)にレ、つも@カ、エに寄ル。

ノレ、ナレ、けれ一レ"おレ、レレ、米斗王里一レ、干"井"一トカ自
小曼@店。

店内にレよ音楽カ流れレ、ル。

お客、ナωレよイ也にひ一レ、レ)ナ"け。

花カ飾られた干一レ、レ"レ席に座つレ、レ、レ。

良死に食事よシ齊ませたらしく、食後@] — t — を食欠ぬけよが
ら本を言売ωτ”いゑ。

カウ・/ 勺 — @ 端から二番目 @ 席に座ゑ。日替わゝ) 又ニューレよ
3 禾重類。

シ主文した@レよ ^° ^° □・/ 于 — J — C `/" ュ — λ。

数分後、シ主文 @ 品がτ”τ、きた。いとも @ — C おゝ) おいゝ
い。

°/ エγ においゝ、ナ @ 禾必密を聞いτゑゑが、「内糸者」 — C か
わ、ナれゑ。

いよ” らくすゑ — C、男小生客がやつτ、きた。二人糸且τ”、ひ
— Cゝ)レよ z4 歳くらい @ 長身。

巾昌子をか、と、” つていゑ。

もうひ — Cゝ)レよ やや年上 @ 30 歳くらいτ” 目良金竟をかけ
τおゝ) 少し太つていゑ。

二人レよイ士事イ中間らしく、長身 @ 方が太つていゑ方になよ
にやら木目言炎していゑようだ” った。

5. 2ちゃんねる

おく晴れた日の、午後、昼食には遅い《° ㇇》ゴラ77777777777777!! 時間。買 E 物の、帰りに E つもの、カフェに寄る。小さ E けれど(° ㇇)ウマ料理とスイーツ(笑)が自慢の、隠れ家的小店(笑)。隠れ家的小店(笑)内には音楽が流れて E る。ホ客タソは他にひとりだけ。花が飾られたテ—— (° ㇇) ——!!!!!!ブル席に座ってΣ(° ㇇ u) ㇇!!。既に食件は(・㇇・)スススソソ済ませたらしく、食後の、コーヒーンを飲みながら本を読んで o / (^ ㇇ ^) \ オワタ E る。カウソタ—— (° ㇇) ——!!!!!!の、端から二番(つ㇇ C) ゴシゴシ 目がの、席に座る。日替わりメニュー—— (° ㇇) ——!!!!!!は 3 種類。注文したおの、はペペロソチ—— (° ㇇) ——!!!!!!ノとジュ—— (° ㇇) ——!!!!!!ス。数分後、注文の、品がで o / (^ ㇇ ^) \ オワタて㇇—— (° ㇇) ——!!!!!!。E つもの、とホリ(° ㇇)ウマ。シェフにホ E しさの、秘密を聞 E てみるが、「内緒」とかわされる。しばらくするおっ(^ ω ^)と、ヲタ客がやつて㇇—— (° ㇇) ——!!!!!!。二人組で o / (^ ㇇ ^) \ オワタ、ひとは 24 歳くら E の、長身。帽子をか` ; ; ` ; (° ε °) ブッ!!て E る。もうん●——! ひとりはやや年上の、30 歳くら E で o / (^ ㇇ ^) \ オワタ眼鏡をかけてホリ少し太って E る。二(° ㇇)ジャ柿(・㇇・)カ! は仕件仲間ゝ(・㇇・)人(・㇇・)ノらしく、長身の、お方が太って E るお方になにやら相談してるおおうん●——! だた。

6. Twitter

m-m 今日は天気がいい。

3 時間前 Web から

m-m ほんと!?今日中に洗濯済ませよう。RT @ray_q @m-m 天気がいいのは今日までらしいよ。

2 時間前 Web から

m-m 買い物だん。これからカフェで遅めのランチういる。行くのはいつものあそこにする。

45 分前 mobile から

m-m シモキタなう。お店は空いていて、他にひとりしかお客さんいない。

25 分前 mobile から

m-m わ～、ニアミス！会いたかった… RT @ashn @m-m さっきまでいたのに～ RT @m-m しもきたなう。

25 分前 mobile から

m-m パスタなう。ペペロンチーノおいしいー

23 分前 mobile から

m-m へえ～！今度行ってみます！！ RT @smkt-kun @m-m シモキタの駅前にある居酒屋はランチもやっていて、安くておいしいですよ。今度行ってみてください。

2 分前 mobile から

m-m ランチだん。後から来た二人組のお客さんなんか相談してたな。どういう関係なんだらう。

1 分前 mobile から

7. 100 文字

買い物帰りにカフェで昼食をとる。他に客はひとりだけ。ペペロンチーノを注文。数分後、食事にありつく。いつもながらおいしい。その秘密を聞いてみるがシェフは教えてくれない。食事が終わった頃、あと二人客が来た。

(100 文字)

8. なんか

冬なのになんかよく晴れた日の午後、昼食にはなんか遅い時間。なんか食べようと思って、買い物の帰りになんかいつものカフェに寄る。なんか小さいけれどなんかおいしい料理とデザートが自慢の店。なんか店内には音楽が流れている。お客さんはなんか他にひとりだけ。なんか、花が飾られたテーブル席に座っていた。なんか既に食事は済ませたらしく、食後のコーヒーを飲みながらなんかの本を読んでいる。なんか空いていたのでカウンターの端から二番目の席に座る。日替わりメニューは 3 種類。注文したのはペペロンチーノとなんかのジュース。数分後、注文の品がでてきた。いつものとおりなんかおいしい。シェフにおいしさの秘密を聞いてみるが、「内緒」と言ってなんか教えてくれなかった。しばらくすると、なんか男性客がやってきた。二人組で、ひとりには 24 歳くらいの長身。なんか帽子をかぶっている。もうひとりはやや年上の 30 歳くらいでなんか眼鏡をかけておりなんか少し太っている。なんか、二人は仕事仲間らしく、なんか長身の方が太っている方になんかについて相談しているようだった。

9. え～

え～、よく晴れた日の午後の、え～昼食には遅い時間でした。え～、買い物の帰りにですね、え～、いつものカフェに寄りました。ここはですね、え～、小さいけれどおいしい料理とデザートが自慢の店です。店内には、え～、いつも音楽が流れています。お客さんは、え～、他にひとりだけでした。その人は、え～、花が飾られたテーブル席に座っていました。え～、既に食事は済ませたらしくて、え～、食後のコーヒーを飲みながら、え～、本を読んでいた。私はと言いますと、え～、カウンターの、え～、端から二番目の席に座りました。日替わりメニューは、え～、3種類あって、注文したのは、え～、ペペロンチーノと、え～、ジュースです。え～、数分後、注文の品がでてきました。え～、いつものとおりにおいしかったです。シェフにえ～、おいしさの秘密を、え～、聞いてみましたが、え～、「内緒」とかわされました。しばらくすると、え～、男性客がやってきました。え～、彼らはですね、え～、二人組で、ひとりには、え～、24 歳くらいの長身で、え～、帽子をかぶっていました。え～、もうひとりには、え～、やや年上の 30 歳くらいで眼鏡をかけていて、え～、少し太った人でした。え～、二人は仕事仲間みたいで、え～、長身の方が、え～、太っている方に、え～、なにやら、え～、相談しているようでした。

10. 英訳

昼食をとるには少し遅いよく晴れた午後の出来事です。私は買い物を終えた後、しばしば訪れるカフェに行きました。それはとても小さいお店です。しかし、おいしい料理とデザートで有名です。私の意見では、それは東京でもっとも素晴らしいお店のひとつです。店内ではいつも音楽が流されています。私が店に着いた時、私の他にお客さんがひとりだけいました。彼女は既に食事を終えたように思われました。そして、コーヒーを飲みながら本を読んでいました。私はカウンター席の端から二番目に座りました。お店には3つの日替わりメニューがあります。私は、ペペロンチーノとジュースを注文しました。数分後、私が注文した料理が運ばれてきました。私は料理を食べました。料理はいつものようにおいしかったです。私は、シェフに彼の料理がなぜおいしいのか尋ねました。しかしながら、彼は「秘密」と言いました。結局、私は彼の料理がなぜおいしいのか知ることができませんでした。しばらくして、二人の男性が来ました。ひとりには背が高く、24歳くらいに見えます。一方、もうひとりには先ほどの男性よりも少し年をとっており30歳くらいに見えます。彼は眼鏡をかけた小太りの男です。彼らの会話によると、彼らは同僚で背の高い男が小太りの男に彼の考えを伝えていました。

11. 重複

よく晴れた快晴の日の午後14時、昼の昼食には早くない遅い時間。物を買った買い物帰りの帰り道に常にいつも寄るカフェに行く。小さくて大きくはないけれどおいしくてうまい料理とデザートを自慢に誇っている店。店の中の店内には音楽の曲がかかって流れている。私以外の唯一のカスタマーのお客さんは他にひとりだけ。植物の花が置かれて飾られて活けられたテーブル席に着席し座っていた。既にもうごはんの食事は済ませて終わらせたいようで、食後のコーヒーを食事の後に飲みながら本を読書している。カウンターの中心ではない端から二番目の席に座る。日によって変わる日替わりメニューは3種類。注文してお願いしたのはパスタのペペロンチーノと飲み物のジュース。数十秒経った数分後、頼んだ注文の商品の品がでてきた。いつものとおりで美味しく美味。料理を作る人のシェフにうまいおいしさの秘密の秘訣を聞いて尋ねてみるが、「誰にもおしえない内緒」とかわされて逃げられた。少しの時間が経過してしばらくすると、男の男性客がやってきた。二人組のコンビで、ひとりには生まれて24年たった24歳くらいの背の高い長身。帽子のハットを頭にかぶっている。もうひとりには少しやや年上の生後30年の30歳くらいでコンタクトレンズじゃない眼鏡を目にかけており痩せていなくて少し太っている。二人は同僚の仕事仲間らしく、背の高い長身の方が太っている肥満体形の方になにやら何事かの相談事を相談しているようだった。

12. アメリカ人きどり

ハイ、エブリワン。今から話すのはワンデイの天気の良いアフタヌーンのアクシデントなんだ。その時はランチには少し遅い時間だった。ショッピングの帰りにいつものカフェに行ったのさ。そのカフェはね、スモールなんだけど、料理とデザートがベリーデリシャスってことでポピュラーなんだ。お店で流れてるミュージックもまたクールでね。ボクが行ったときは空いていて他にひとりのプリティーガールがいただけだった。ラッキーだったね、ふたつの意味で。例のプリティーガールはテーブル席に座っていたんだけど、そのテーブルにはビューティフルなローズが飾ってあったんだ。真っ赤なローズもビューティフルだったけど、ミールのあとにミルクアンドシュガーを入れたコーヒーをドリンキングしながらブックをリーディングする彼女はもっとビューティフルだったよ。ボクはカウンターにシットダウンすることにして、シェフのレコメンドするペペロンチーノとオレンジジュースをオーダーした。本当なら、コーヒーをウォントしたいところなんだけど、最近あまりスリーピングできなくてね。カフェインは遠慮したってわけ。シェフの調理はベリークイックで、オーダーした2, 3 ミニッツあとにはワンダフルなペペロンチーノが完成していたんだ。ここで、良い知らせと悪い知らせがあってね、まず良い知らせから話すと、そのペペロンチーノの味はグレイトでパーフェクトだったんだ。で、もうひとつの悪い知らせっていうのはね、おいしさのシークレットをシェフに聞いたら「お前にはまだ教えられないヨ」って言うんだ。ボクってかわいそうだろ？ランチのあとシェフとしばらくトーキングをエンジョイしていたら、二人の男たちがやってきたんだ。ひとは24歳くらいのヤングでトールなボーイで、頭にはハットを載せていた。もうひとはヤングトールボーイよりは少しオールドな30歳くらいで、少し太っていた。きっと彼はコーラを飲み過ぎたんだと思うよ。ふたりはカンパニーでのフレンドらしくって、トールボーイはファットマンに悩みを相談していたよ。たぶんラブの悩みだな。ラブの悩みはフレンドにしちゃいけないって親父がよく言っていたのを思い出したよ。

13. 短歌

晴れた日に 昼食食べに カフェに寄る
他のお客が 相談しけり

14. 某

よく晴れた某日の午後、昼食には遅い時間。某所での買い物の帰りにいつも訪れる某カフェに寄る。小さいけれど、某国の某料理をアレンジしたメニューが自慢の店。店内には某ミュージシャンの音楽が流れている。私以外のお客さんは某女優に似た雰囲気の人がひとりだけ。某花が飾られた某メーカーのテーブル席に座っていた。既に食事は済ませたらしく、某店から仕入れている豆を使った食後のコーヒーを飲みながら某有名作家の本を読んでいる。カウンターの端から二番目の、某有名インテリアブランドの椅子がある席に座る。日替わりメニューは3種類。注文したのは某所で収穫された野菜を使ったペペロンチーノと某果物の果汁を使ったジュース。数分後、注文の品がでてきた。某レストランのものに負けないくらいおいしい。某日に食べたときもおいしかった。シェフにおいしさの秘密を聞いてみるが、「内緒」とかわされる。しばらくすると、男性客がやってきた。二人組で、ひとりには24歳くらいの某モデルほどの長身。某店で売っていたと思われる某ブランドの帽子をかぶっている。もうひとりはやや年上の30歳くらいで某俳優がデザインした眼鏡をかけており少し太っている。二人は某社で働く仕事仲間らしく、長身の方が太っている方に都内某所にあるという某スポットについて相談しているようだった。

15. とても

とてもよく晴れた日の午後、昼食にはとても遅い午後。買い物帰りにいつものカフェに寄る。とても小さいけれどとてもおいしい料理とデザートがとても自慢の店。店内にはとても音楽が流れている。お客さんは他にひとりだけ。とても花が飾られたテーブル席に座っていた。すでに食事は済ませたらしく、食後のコーヒーを飲みながらとても本を読んでいる。カウンターの端から二番目の席に座る。日替わりメニューは3種類。注文したのはペペロンチーノとジュース。数分後、注文の品がとても出てきた。いつものとおりとてもおいしい。シェフにおいしさの秘密を聞いてみるが、「内緒」とかわされる。とてもしばらくすると、男性客がとてもやってきた。二人組で、ひとりには24歳くらいのとても長身。とても帽子をかぶっている。もうひとりはとても年上の30歳くらいで眼鏡をかけておりとても太っている。二人はとても仲の良い仕事仲間らしく、とても長身の方がとても太っている方になにやらとても相談しているようだった。

16. 星新一調

よく晴れた日の午後、昼食には遅い時間。エヌ氏は買い物の帰りに、ときどき寄るカフェのドアを押した。小さな店だが、いい味の料理を出すところをエヌ氏は気に入っている。店内もほどよく整えてあり、いつも心地よい音楽が流れている。エヌ氏が店に入ったとき、客は女性ひとりしかいなかった。彼女はスズランの飾られたテーブル席に座っていた。彼女はずば抜けた美人ではなかった。といて、決してみにくいわけでもなかった。既に食事は済ませたらしく、食後のコーヒーを飲みながら本を読んでいる。エヌ氏はカウンターの端から二番目の席に座った。特に理由はないのだが、いつのまにかここが彼の席になっているのである。エヌ氏はパスタとジュースを注文し、すぐに注文の品が出された。フォークを手にとって口へ運ぶ。ひとくち食べると口の中にペペロンチーノの味がひろがった。エヌ氏がまたひとくち食べると今度は口の中に、カルボナーラのまろやかな味をもたらした。皿に盛られたパスタは、ただの麺にすぎない。しかし、味はいろいろに変化するのだった。一昔前の人間であれば、魔法にちがいないと腰を抜かすことだろう。だが、これは魔法ではなく科学の成果。ひとくちごとにちがった味をたのしめるようになってきているのだ。エヌ氏が食事を終えてしばらくしたときだった。二人組の客がやってきた。ひとはまだ若い長身の男。チル星で人気の帽子をかぶっている。もうひとは、やや年上の眼鏡をかけた小太りの男だ。ふたりが同じ会社の社員であることは胸のバッジでわかる。長身の男が小太りの男に恋人とでかける予定の宇宙旅行について相談していた。それを聞いたエヌ氏は、思い出したように自分のカバンから宇宙旅行のパンフレットを取り出した。

17. オノマトペ

ぴかぴかに晴れた日のぼかぼかの午後、昼食には遅い時間。へとへとになった買い物の帰りにのろのろといつものカフェにふらふら寄って、ぎーっと扉を開けた。パタンと扉は閉じた。ここは10人も入ればぎゅうぎゅうになるくらい小さいけれど、ほかほかでおいしい料理とふわふわしたデザートが自慢の店。店内には蓄音器があって、レコードがくるくるまわって音楽を流している。お客さんは他にぽつんとひとりだけ。くんくんと匂いを嗅げばいい香りがしそうなひらひらした花が飾られたテーブル席にちょこんと座っていた。既に食事はぺろりとたいらげたらしく、食後のコーヒーをずるずるとすすりながらパラパラ本をめくって読んでいる。本がとても面白いのか、にやにやしているのが印象的だった。私はでこぼこした木のカウンターの端から二番目のゆらゆらする席にどっしりと座る。日替わりメニューは3種類。ささっと注文したのはぺこぺこのお腹を満たすペペロンチーノとカラカラの喉をうるおすためのジュース。待っている間はきょろきょろしたり、足をぶらぶらさせたり、ペンをカチカチ回したりしてすごした。数分後、注文した品がすっと出された。カチャカチャと音を立てないように気をつけながら食事を始めた。ペペロンチーノは麺がもちもちで、いつもどおりおいしい。もぐもぐ食べた。ジュースもごくごく飲

んだ。氷だけが残ったグラスがカランと音を立てた。食事を終わるとお腹がぱんぱんだった。シェフにおいしさの秘密をこっそり聞いてみるが、「内緒」とすんなりかわされる。食事を終えてゆったりとした時間をまったりと過ごしていたら、男性客がのそのそとやってきた。二人組で、ひとりには24歳くらいのすらっとした長身。もこもこした帽子をすっぽりかぶっている。もうひとりはやや年上の30歳くらいでフレームがギラギラした眼鏡をかけており、少しぼっちゃりと太っている。ぶにぶにですべすべの頬は子どものようだ。二人はどたばた走り回って働く仕事仲間らしく、ひょろっとした長身の方がぶくっとした太っている方にヒソヒソとなにやら相談しているようだった。

18. 誤変換

よく腫れた火の五語、昼食には襲い次官。怪者の孵りにいつものカフェに夜。地位差異けれどおいしい綾里とデザートが持満の三瀬。殿無いには恩学が流れている。お脚さんは外にひとりだけ。鼻が風られたテーブル関に諏訪っていた。素手に植字は澄ませたらしく、職誤のコーヒーを蚤ながら奔を呼んでいる。カウンターの橋から二版眼の関に諏訪る。非代わりメニューは3酒類。中門したのはペペロンチーノとジュース。吸粉語、中門の科がでてきた。いつものとおりおいしい。シェフにおいしさの費光を効いてみるが、「内証」とかわされる。しばらくすると、弾性脚がやってきた。二里酌みで、ひとりには24祭くらいの長針。防止をかぶっている。もうひとりはやや都市植えの30祭くらいで芽がねをかけており少し不図っている。二里は死語と中間らしく、長針の法が不図っている法になにやら装弾しているようだった。

19. ～じゃないですか

「センパ～イ、聞いてくださいよお。昨日よく晴れたじゃないですか～。私って天気がいい日の午後は出掛けるじゃないですか～。買い物してたら時間を忘れちゃうじゃないですか～。気付いたら、お昼過ぎてて。14時っていうと昼食には遅い時間じゃないですか～。女の子って買い物の帰りにはやっぱりいつものカフェに寄るじゃないですか～。あそこはお店自体は小さいけど、おいしい料理とデザートが自慢の店じゃないですか～。店内には音楽が流れているじゃないですか～。お客さんは他にひとりだけじゃないですか～。花が飾られたテーブル席に座ってたじゃないですか～。既に食事は済ませたみたいで、食後のコーヒーを飲みながら本を読んでいるじゃないですか～。私ってカウンターの端から二番目の席に座ることにしてるじゃないですか～。日替わりメニューは3種類あるじゃないですか～。注文したのはペペロンチーノとジュースじゃないですか～。数分後、注文の品がでてきたんですけど、いつものとおりおいしいじゃないですか～。シェフにおいしさの秘密を聞いてみたんですけど、「内緒」とかわされちゃったじゃないですか～。しばらくする

と、男性客がやってきたじゃないですか～。二人組のひとは24歳くらいの長身で帽子をかぶっているじゃないですか～。もうひとはやや年上の30歳くらいで眼鏡をかけていて少し太っているじゃないですか～。二人は仕事仲間みたいで、長身の方が太っている方になにやら相談しているみたいだったじゃないですか～。」

「知らない。」

20. レストランにて

よく晴れた日の午後、昼食には遅い時間。買い物の帰りにいつものカフェに寄る。小さいけれどおいしい料理とデザートが自慢の店。店内には音楽が流れている。お客さんは他にひとりだけ。花が飾られたテーブル席に座っていた。既に食事は済ませたらしく、食後のコーヒーを飲みながら本を読んでいる。私に気付いた店員が案内してくれる。

「いらっしゃいませ。こちらの席のほうへどうぞ。

あちらの3種類が日替わりメニューになります。」

「じゃあ、ペペロンチーノを。」

「お飲物のほうどうなさいますか。」

「ジュースをください。」

「ご注文のほうは、ペペロンチーノとジュースでよろしかったでしょうか。」

「はい。」

数分後、注文の品がでてきた。

「こちらペペロンチーノとジュースになります。」

「ありがとう。」

私は早速食べ始める。いつものとおりおいしい。

しばらくすると、男性客がやってきた。二人組で、ひとは24歳くらいの長身。帽子をかぶっている。もうひとはやや年上の30歳くらいで眼鏡をかけており少し太っている。二人は仕事仲間らしく、長身の方が太っている方になにやら相談しているようだった。彼らがやってきたところで、私は席を立った。

「お会計お願いします。」

「はい。お会計のほうが980円になります。」

「細かいのがないので、すいませんが5000円で。」

「それでは、5000円からお預かりいたします。まず大きいほうのお返しが4000円になります。あと小さいほうのおつりが20円になります。」

「ごちそうさまでした～」

「ありがとうございましたあ～！」

私は店を出た。

21. はんたい

雨の日の午前、昼食には早い時間。買い物前にいつものカフェに寄る。広い店だけれど、おいしくない料理とデザートで悪名高い。店内は音楽も流れておらず、無音。それにもかかわらず、席が全て埋まるほどの客で混雑している。何も飾られていないテーブル席に立っていた。他の客たちはまだ食事を済ませていないようで、食前のコーヒーを飲まずに、本を読むことなく待っている。私は空いていた席に着く。毎日変わらないメニューが 3 種類あるが、ペペロンチーノもジュースも注文しなかった。何時間たっても、何も注文していないので、料理は出てこない。(いつもと違っておいしい料理だったかもしれないが。) シェフになにも尋ねていないのに、味の秘密をべらべらと話していた。その直後、女性客がやってきた。ひとは 42 歳くらいの背が低い人。帽子はかぶっていない。もうひとはかなり年下の 13 歳くらいで、眼鏡はかけておらず、とても痩せている。二人は赤の他人らしく、背の低い方が痩せている方になにかを話しかけることはなかった。

22. 漢文風

良晴日之午後	昼食対遅時間
買物之帰的毎時之喫茶的寄	小美味料理甘味自慢之店
店内対音楽流在	客他的限
花飾食卓席的座	既的食事済其時
食後之珈琲宛飲本宛読於在高卓	高卓之端発二番目之席的座
日替献立三種類	注文西洋麵果汁
数分後 注文之品於	毎時之通美味
料理人臭之秘密宛聞試「内緒」	来男性客
二人組於二四歳之長身	帽子宛在
尚年上之三拾歳於眼鏡宛掛少太在	二人仕事仲間長身之方太在方的的相談在様

23. 和製英語

よく晴れた日の午後、昼食には遅い時間。デパートでのバーゲンセールへの帰りにいつものカフェに寄る。ビルの 5 階にある、小さいけれどおいしい料理とシュークリームやプリンなどのデザートが自慢の店。店内には音楽が流れている。お客さんは他に女性がひとりだけ。テレビに出てくるタレントのようにスタイルがいいが、雰囲気からして OL だろう。彼女は花が飾られたテーブル席に座っていた。既に食事は済ませたらしく、ミルクを入れたアメリカンを飲みながら本を読んでいる。本に掛けられたブックカバーから彼女のセンスの良さが伝わってくるようだ。私はカウンターの端から二番目の席に座る。すぐにアルバイトの店員がコップに入った水を出してくれた。この店の日替わりメニューは 3 種類。

注文したのはペペロンチーノとオレンジジュース。数分後、注文の品と一緒にパンが出された。どうやら店側のサービスらしい。さっそく食べてみると、いつものとおりおいしい。気になってシェフにおいしさの秘密を聞いてみるが、「内緒」とかわされる。この味が自分で作れたらいいのと思うが、幸いこのカフェは住んでいるマンションからも近く、この味が恋しくなったらいつでも来られるのだ。私が食事を終えてしばらくすると、二人組の男性客がやってきた。ひとりは年齢が 24 歳くらいで、180 センチ以上ある長身。G パンに Y シャツというシンプルな格好で、かぶっている帽子もよく似合っている。もうひとりはやや年上の 30 歳くらい、オールバックに眼鏡という出で立ちで少し太っている。エアコンのよく効いた店内は彼にとっては暑いらしく、店に着くや否や来ていたオーバーを脱いでいた。どうやらふたりはサラリーマンで、しかも仕事仲間らしい。長身の彼には恋人がおり、カレーライスとコロッケを作ってもらったとハイテンションで話していたのが聞こえた。そして、長身の方が太っている方に恋人への料理のお礼について相談しているようだった。

24. 数値

気温 12 度、湿度 53 パーセント、降水確率 10 パーセントのよく晴れた日。午後 14 時 08 分、国民の 78 パーセントが昼食を食べるとされる午後 12 時 35 分ごろからは少し遅い時間。3 つの百貨店を 3 時間 48 分かけてはしごして、合計 35,047 円使った買い物の帰りに、出掛けた時 5 回に 3 回の頻度で訪れるカフェに寄る。面積 26.30 平方メートルという小ささながら、グルメサイトで平均評価 4.18 を獲得したおいしい料理とデザートが自慢の店。店内には 1970 年代の音楽が流れている。お客さんは他に身長 160 センチメートルの 25 歳の女性ひとりだけ。長さ 20 センチメートルから 30 センチメートルの花が 2 本飾られた直径 113 センチメートルのテーブル席に座っていた。6 分 45 秒前に食事は済ませたらしく、食後のコーヒー 120 ミリリットルを飲みながら厚さ 2.3 センチメートル、総ページ数 336 ページ本を毎分 1.7 ページのスピードで読んでいる。カウンターの端から 89 センチメートル、座席でいうと左端から二番目の席に座る。午後 14 時 30 分までドリンクがセットになる日替わりメニューは 3 種類。注文したのはペペロンチーノ 95 グラムと果汁 100 パーセントのオレンジジュース 230 ミリリットル。注文から 522 秒後（つまり 8.7 分後）、注文の品がでてきた。過去に食べた 19 回の味と比較しても大差はなく、いつものとおりおいしい。シェフにおいしさの秘密を聞いてみるが、「おいしさの秘密を教える確率は 0.00167 パーセント」と言われてしまう。それから 4 分ちょうど経った時、二人の男性客がやってきた。ひとりは 24 歳と 2 か月と 28 日で身長 183.2 センチメートルの男性。幅 3.6 センチメートルのつばがついた帽子をかぶっている。もうひとりはやや年上の 30 歳と 11 か月と 3 日の男性で、厚さ 3 ミリメートルの眼鏡をかけており、体重が 71.9 キログラムと少し太っている。二人は一緒に働きだして 3 年未満の仕事仲間らしく、身長 183.2 センチメートルの長身の方が体重 71.9 キログラムの太っている方に、付き合ってから 6 か月と 22 日の恋人と出掛けるデートの場所について相談しているようだった。

25. 漫才

「はいどうも～」

「はいどうも～、よろしくおねがいしま～す。」

「ボクね、この間の天気良かった日に買い物に行ったんですよ～」

「ほう、そしたらサイフを忘れてそのままドライブ行ったんやな。」

「ちやうわ！ネタが古いねん。懐かしすぎるやろその歌。」

まあね、買い物は普通に済ませたんですよ。そしてね、ちょっと遅いけど昼ごはんたべようかなあなんて思っていつも行くカフェに寄ったんですよ。」

「あ～、お前の実家か。」

「なんでやねん、うちの実家はカフェはやってへんわ。」

「あ～、お前の実家は神社やもんな。」

「んなわけあるか！普通の会社員や。まあね、カフェに行ったんです。ボクが行った時はほかに女性の方がひとりだけしかいなかったんですけど、」

「まさか、それが元カノやったとかいうんやないやろうな～」

「なんでお前がそれを言うねん！！」

「え、ホンマに元カノやったんかいな～！！ボケたつもりが当ててもうた～」

「ボケがボケんでどないすんねん。もうやめさしてもらおうわ。」

(礼)

26. あいうえお作文

あ～あ。 いい天気。 うちを出て買い物へ。 英語の本を お買い上げ。

歌舞伎について外国人の友達に 聞かれたけれど英語で歌舞伎を説明するのに 苦勞して結局本に頼ることにした。 これできっと大丈夫。

さすがに午後 2 時すぎるとお腹が空く。 下北沢のいつものカフェに寄ってみた。 すてきなお姉さんが先客だった。 清楚な雰囲気その人は食後のコーヒーを飲みながら そばに置いてあった本を読み始めた。

頼んだペペロンチーノとジュースは割とすぐに出来上がってきた。 チーズを少しかけて食べる。 ついついおかわりしたくなるくらいおいしい。 丁寧に調理されたことが伝わってくる とびきりの味。

なぜこんなにおいしいのかシェフに聞いてみたけれど にやりと笑って教えてはくれなかった。 抜かりない人だ。 寝る間を惜しんで生み出した味を 呑気に教えはしないのは当然か。

花が飾ってあるテーブルの清楚なお姉さんは 引き続き本を読んでいたけれど、 ふと気付くと二人の男性客が店に入ってくるころだった。 平均身長よりずっと高いと思われる 24 歳くらいの人は 帽子をかぶっていた。

丸い眼鏡をかけた小太りのもうひとりとは 見た目からしてもうひとりよりやや年上の 30 歳くらいといったところ。 向かい合わせにテーブルについた二人はどうやら仕事仲間らしい。 眼鏡の男性に長身の男性がなにやら相談を もちかけているのが聞こえてくる話からわかる。

「やっぱり特別なデートはあそこがいいですかね。」と長身。

「ゆっくりできるからいいんじゃない？」と眼鏡。

「よし、そうします。」と何やら決意したらしい長身。

「来月一緒に 旅行に行くから 留守中のことを誰かに頼むようにきちんと彼女に 連絡しておけよ。」 ロックスター口調で眼鏡が言った。

私には場所まではわからなかったけど、一体彼はどここのデートスポット を選らんだんだろう。 ん〜、気になる。

27. 田舎の母への手紙

お母さんへ

元気にしていますか？私は東京で元気にやっています。勉強は大変だけど、やっぱり東京に出てきてよかったと思います。ここ数日は天気も良くて、過ごしやすい日が続いています。今日は買い物に行きました。東京は物価が高いので、なるべくセールの日を狙って買い物をします。

そうそう、最近お気に入りの場所が出来ました。下北沢という街にあるカフェです。小さなお店だけど、料理がおいしくてお店の中では素敵な音楽が流れているようなお店です。きっと、お母さんも気に入るとおもうので、今度東京に遊びに来た時には連れていくね。今日も買い物の帰りに行きました。(今日食べたペペロンチーノの写真も一緒に入れました。)私より先に来ていた女性のお客さんがいたんだけど、その人がとっても素敵で私もあいう人になりたいと思いました。このお店のシェフはとってもよくしてくれて、行きたび

にいろいろなお話を聞かせてくれるし、私の話も聞いてくれます。どこか殺伐とした東京のなかでも、ここはほっとできる場所です。有名人もよく来るお店で、今日も私のあとに来たお客さんはテレビでときどき見かける俳優さんだったよ！こういう場面に遭遇すると東京にいるなあと思います。

これから寒くなるのでお母さんたちも風邪に気をつけてね。

28. なぜかよめてしまう

よく はたれのひ ごご、ちゅうしょうくには おいじそかん。

かものいの かりえに いもつの かふえよにる。

ちさいいれけど おいしい りよりうと でとーざが じんまの みせ。

てないんには おがんくが なれがいてる。

おくやきんさは ほかに ひりだとけ。

はなが かざれた テールブせきに すわっていた。

すでに しょじくは すたませしらく、しょごくの こーひーを のなみがら ほんをよでんいる。

かんうた一の はかじら にんばのめ せきに すわる。

ひわがり めゆに一は 3しるゆい。

ちゅうもうん しのたは ペペろんちーのと じーゆす。

すんふうご、ちゅうもうんの しなが できてた。

いもつの とおり おいしい。

しふえに おいしいさの ひつみを きているみが、「なしいよ」と かされわる。

しらばくるすと、だいせんきくやが やっきてた。

ふりたみぐで、ひりとは 24さくいらいの ちょしうん。

ぼしうを かてつぶいる。

もうとひりは やとやうしえの 30さくいらいで めねがを かけおてり すこし ふてつといる。

ふりたは しとごなまからしく、ちょしうんのうほが ふてつといほるうに なやにらそだうして いようるだった。

29. 小学生の日記

今日はお母さんとにかいものに行きました。天気がすごくよかったです。お母さんがかいものに時間がかかって、おひるごはんを食べるのがおそくなってつかれました。かいものあとにごはんを食べました。スパゲッティとジュースを食べました。すごくおいしかったです。こんなにおいしいのがつくれるのはすごいと思います。さいしょ、おきやくさんわ女の人しかいませんでした。ごはんがおわったときに、大きい男の人がふたり来ました。すごくつかれたけどすごくたのしかった。また行きたい。

30. 類義語

快晴の日の昼過ぎ、遅ればせながら、昼ごはんを食べる。ショッピングからの帰路の途中、行きつけの喫茶店に道草する。細めの店舗ながら、とびきりのごちそうとおやつが評判である。店では曲をかけている。客人はひとりを除いては見受けられない。生花で彩られた食卓についていた。とくに料理は食べ終わったようで、食事のあとの一服を味わいながら読書をしていた。カウンター席の右から三番目の席に腰を下ろす。本日限定の料理は全部で3つ。スパゲッティとソフトドリンクを頼んだ。数百秒後、頼んだ料理が運ばれてきた。相変わらずほっぺが落ちそうな味だ。料理人に旨さの秘訣を尋ねてみるが、「教えない」と逃げられた。ややあって、二人の成人男性が店に入ってきた。一方は、24歳ほどののっぽでハットを身につけている。もう一方は、若干先輩の30歳ほどでメガネ姿のぼっちゃり。彼らは同僚らしく、のっぽがぼっちゃりに何か持ちかけているように見えた。

31. 別の視点から I

(テーブル席の客)

今日は天気がよかったので、朝から下北沢に出かけた。休日だからか電車も下北沢も混んでいた。あまりの混雑に目的もなく来てしまったことを後悔していたけれど、前から欲しかった本を古本屋で見つけられてラッキーだった。お腹が空いたので、たまたま見つけたカフェに入った。開店直後だったので、すんなり席に案内された。あまり広くないけれど、清潔感があって好感が持てる。日替わりメニューからカルボナーラを選んで食べた。今まで食べたカルボナーラの中でいちばんおいしかった。こんないいカフェを見つけれ、本のことといい今日はツイている。ランチセットのコーヒーを飲みながら、買ったばかりの本を読むことにした。大好きなアーティストのインタビューが掲載された雑誌で、少し読むだけでにやけてしまう。にやけを抑えるのに必死になっていると、お客さんがひとり入ってきた。様子からみて常連なのだろう。慣れたようにオーダーをしていた。その人が食事を終えてお店の方とおしゃべりをはじめたころ、またお客さんがやってきた。今度は二人組の男性で、ひとりが長身でとても目を引いた。彼らもおしゃべりを始めたので、

お店の中はぐっとにぎやかになった。読書には向かない空間になってしまったので、私は店を出ようと読んでいた本を置いた。

32. 別の視点からII

(長身男)

今日はめちゃくちゃ天気が良い。午後から会社の先輩と会う予定があるので、少し早く家を出て本屋で時間をつぶした。僕が手に取ったのは旅行のガイドブック。来月、彼女と旅行に行こうと考えているからだ。先輩に会うのはその相談に乗ってもらうためなのだ。先輩は長いこと彼女がいらないらしいのだが、どういうわけか、デートスポットにはだれよりも詳しい。困った時にはいつも先輩のデートスポットデータベースを頼ってしまう。駅で先輩と待ち合わせて、カフェに入った。ここは先輩のお気に入りでも僕も何度か来たことがある。ちょっとわかりにくい場所にある小さなお店だけど、料理はばつぐんにうまい。店に入ると既に二人先客がいた。本を読んでいるテーブル席の人と、シェフと談笑しているカウンター席の人。二人とも僕を見ていた。僕は身長があるので、こういうこぢんまりとした場所ではとても目立って恥ずかしい。すぐに座って先輩と話し始めた。相変わらず先輩のデートスポットに関する知識はすごいなと感心しつつ、先客らが僕たちの話を聞いている気がしてそわそわしてしまった。

33. 別の視点からIII

(小太り男)

日差しが強くて目が覚めた。いくら天気良くても予定がないんじゃない関係ない。せっかくの休みだから二度寝でもするか…と思った矢先、会社の後輩に相談に乗ってほしいといわれていたことを思い出した。相談っていつでもどうせまた彼女とのデート場所のことだろう。あいつはいわゆるイケメンなのに、そういうことにはかなり疎らしい。困るといつも俺に頼ってくる。自分でいうのもなんだが、俺はデートの情報に関しては誰にも負けない自信がある。かわいい後輩のために一肌脱いでやろう。駅に着くとあいつはもう来ていた。そのまま、行きつけのカフェへ行く。ここのいいところは、メシがうまい、酒が飲める、いい音楽が聴けるの三点だ。俺が外食する時はだいたいここに行く。俺たちが店に入ると客が二人いるだけだった。カウンター席に座っている客は前に見たことがある気がする。奥のテーブル席の美人は初めて見た。好みのタイプだなと彼女を見ていたけど、彼女はイケメンの後輩ばかり見ていた。ああ、モテる奴はいいなあと後輩を見ながら妬ましく思うが、本人は彼女との旅行について深刻に悩んでいるようで、俺も真剣にアドバイスしてやることにした。

34. 別の視点からIV

(シェフ)

朝早く起きて開店準備をする。仕込みは前の晩に済ませてあるので、開店準備といえば店の清掃くらいだ。今日は天気がいいから、この街も、この店も賑わうことだろう。近所のお花屋さんに選んでもらっている花を活けたり、オーナーが選んだ音楽をかける準備をするのもこの時間の仕事だ。12時ちょうど、店を開けた。平日でも、休日でも開店前から並んでいるような客はうちの店にはいない。ふらっと立ち寄れるそんな店でありたいというオーナーの考えがいつのまにかお客さんにも浸透しているのかもしれない。そんなことを考えていると、今日ひとり目のお客さんが来た。見かけない顔だから、おそらく初めて来た人だろう。注文をとって、調理にかかる。調理にはあまり時間をかけ過ぎてはいけない。手早く、けれど丁寧に。これが自分のモットーだ。初めてのお客さんに料理を出すときはいつも以上に緊張する。彼女は気に入ってくれるだろうか、ドキドキしながら様子をうかがっていると彼女から笑みがこぼれた。どうやら彼女の口にあったようで、ほっとした。その後も14時過ぎまでは立て続けにお客さんが来てくれて大忙しだった。一息ついたところで、常連さんが来た。買い物帰りに寄ってくれたらしい。決まってカウンターの端から二番目の席に座るその常連さんからは、いつものとおりおいしいとおほめの言葉をいただいた。このお客さんはいつも自分に料理のおいしさの秘密を聞いてくる。自分はいつも「内緒」だと答えている。それは教えたくないからというわけではない。自分でもまだその秘密を理解できていないのだ。少しの間お客さんと話をしていたら、男性が二人やってきた。休んだのも束の間またキッチンに戻った。

35. 客観

快晴の午後。ランチタイムは過ぎている。男は買い物帰りにいつものカフェに寄った。駅近くのビルの中にあるちいさなカフェは隠れた名店と評判が高い。男はこの店の料理をとっても気に入っている。男が店に着いた時、先客がひとりいた。食事を済ませ、コーヒーを飲みながら本を読んでいた。男はカウンターの端から二番目の席に座る。店の日替わりメニューは3種類。男はメニューからペペロンチーノとジュースを選んだ。数分後、注文の品が出される。料理を食べた男は満足げだ。シェフにおいしさの秘密を聞きだそうとする男を、シェフは「内緒」とかわす。しばらくすると、男性客がやってきた。二人組で、ひとりには24歳くらいの長身。帽子をかぶっている。もうひとりはやや年上の30歳くらいで眼鏡をかけており少し太っている。二人は会社の先輩後輩の関係で、後輩の方が先輩の方になにやら相談していた。

36. 古文

よく晴れし日の午後、昼食には遅き時間。買ひ物の帰りに例のカフェに寄る。小さけれどおいしき料理とデザートが自慢の店。店内には音楽が流れたり。お客さんは他にひとりのみ。花が飾られたテーブル席に座りたりき。既に食事は済ませきめり、食後のコーヒを飲みながら本を読みたり。カウンターの端より二番目の席に座る。日替わりメニューは3種類。注文せしはペペロンチーノとジュース。数分後、注文の品がでてきたり。いつものとおりいとおいし。シェフにおいしきの秘密を聞いてみるが、「内緒」とかわさる。しばらくすと、男性客がやりてきたり。二人組で、ひとりは24歳くらいの長身。帽子をかぶりたり。もうひとりはやや年上の30歳くらいで眼鏡をかけており少し太りたり。二人は仕事仲間らしく、長身の方が太りたる方になるにやら相談しためりき。

37. お嬢様

今日はとても良いお天気だったから、お買い物にでかけましたの。わたくしったら、すっかりお買い物に夢中になってしまって、お昼をいただくことすらも忘れてしまいましたわ。でも、やっぱりお腹は空いてしまうものなのよね。ランチの時間からは少しずれてしまったけど、いつもお世話になっているお店でお食事をいただいたの。わたくしは世界各国のお料理をいただいてきたけれど、イタリアのお料理がとつてもすきな。でも、イタリアへ行くお金はあっても、行く暇がないでしょう？悲しんでいたところに、執事のセバスチャンがこのお店を見つけてきてくれたのよ。わたくしとしては、もう少しお店が広ければいいことなしなんだけど…でも、お料理もデザートもとつてもおいしいの。わたくしがお店に伺ったときに、先にどこかのご令嬢がいらっしやっただけど、わたくしに気付くとずっと席をあけてくださったわ。でも、丁重にお断りしたの。だって、テーブルに活けてあったお花との方がとつてもお似合いだったんですもの。優雅に本をめくる所作が美しく、同じ女性として憧れてしまったほどよ。それから、わたくしも席についてシェフにお料理をお願いしたわ。シェフのお料理の腕は素晴らしくて、すぐにおいしいお料理をだしてくださったわ。お味ももちろん素晴らしかったの。わたくし、こちらに伺ったときにいつも「どうしてこんなにおいしいお料理がつかれるのかしら？」とお聞きするんだけど、シェフったらどうしても教えてくださらないのよ。でも、きっとそういうところも一流のシェフである証拠なんだわ。お料理をいただいてしまったところに、ふたりの殿方がお店にいらっしやっただわ。ひとりは背が高くてわたくしの3つ上くらいだったかしら。お上品な帽子がとても似合うお方だったわ。もうひとりはもう少しお年を召していらっしやっているみたいで、とても体格のいいお方だったわ。おふたりは、お店にいらしてからすぐにお話をされていたわ。一緒にビジネスをされているように思えたけれど、お話を盗み聞きするなんてはしたないことはできないでしょう。だって、それが淑女のマナーですもの。結局、おふたりについてはよくわからなかったわ。でも、ぜひまたお会いしたいわ。

38. 事情聴取

—11月26日の午後、あなたは例のカフェにいましたよね？

はい、昼ごはんを食べに行っていました。

—それは、何時頃のことですか？

14時過ぎだったと思います。

—あなたはカフェで何をしましたか？

まず、ペペロンチーノを注文しました。あ、あとジュースも頼みました。

何分か待って、料理が出てきたので食べました。

—あなたが店にいる間、他にどんなお客さんがいましたか？

店に入った時点では、ひとりしかいませんでした。

テーブル席でコーヒーを飲みながら本を読んでいた。

—他にもだれか来ましたか？

はい。料理を食べ終わったところに二人組の男性が来ました。

ひとりはとても背が高く、

もうひとは小太りで眼鏡をかけていた気がします。

—二人に見覚えはありますか？

背が高い方が目立っていたので、小太りの方の顔は覚えていません。

背が高い方の人は見たことのない人でした。

—二人はカフェで何をしていましたか？

なにかひそひそと相談事をしているみたいでした。

ときどき声が聞こえてきて、「あそこで決定でいいな」みたいなことを話していました。

39. 一息で

晴れの日の昼過ぎ買い物帰りにいつもいく小さいけれどおいしいカフェ行ってペペロンチーノ食べてジュース飲んでいたらほかにテーブル席でコーヒー飲んで本を読んでいるお客さんと24歳くらいの長身と30歳くらい小太りの男性二人組がいて相談していた。

40. カップルの会話

「昨日は何してたの？」

「よく晴れていたから、買い物に行ったよ。」

「で、何を買ったの？」

「マフラー。今使ってるやつがかなり傷んでて。ちょうどいいのが安くなってたんだよ。」

「よかったじゃない、いいのが見つかって。」

「君は昨日何をしていたんだい？」

「わたしは家中をお掃除してたわ。すっごくきれいになったのよ！」

「ついでにうちも掃除してくれよ。」

「自分のことは自分でしなくっちゃだめよ。それで、昨日は買い物して終わり？」

「いや、飯食いにシモキタまで行ったよ。」

「いつものカフェでしょう？あそこ小さいけど、料理もおいしくっていいお店よね。」

「そうそう。ランチタイムのピークを過ぎていたから、他にお客さんもひとりしかいないよ。」

「何を食べたの？」

「日替わりのパスタ。ペペロンチーノうまかったよ。」

「あそこはいつでもおいしいのよ。どうしてあんなにおいしいのかしら。」

「俺も気になってシェフに聞いたけど『内緒』だったよ。」

「あー、思い出したら食べたくなってきちゃったわ。ねえ、今から行きましょうよ。」

「ええー。昨日行ったばっかだから、また今度にしてくれよ。次の休みには連れてってやるから。」

「わかったわ。でも、約束よ！」

「そういえば昨日カフェにいた人美人だったなあ。」

「ん？なんか言った？」

「い、いや。な、なんでもないよ。」

4 1. 新聞

下北沢の飲食店に二人組の男が乱入

「おしゃれなカフェに入ってみたかった」

昨日午後、下北沢にある某飲食店に二人組の男が乱入した。二人は客を装い席に着くと「注文は少し待ってくれ」と店員に断ったあと、店を出るまでの約 3 時間何一つ注文をしなかったとされる。事件当時店内にいた別の客の話によれば「二人は店に入ってきたときから少し怪しかった。席に着くと二人でこそこそ話をしていた。今思えば犯行の相談だったのかもしれない。」とのこと。男らは「おしゃれなカフェに入ってみたかった。でも、金がなくてこういうことになってしまった。店の人には申し訳ない。」と述べている。特に被害はなく、飲食店側も男らを訴えない方針だ。「お金が貯まったらまた来てください」と従業員は語った。

4 2. 心の中の声

よく晴れた日の午後（今日は暑いな）、昼食には遅い時間（お腹がすいた）。買い物の帰りに（歩き疲れた）いつもの（この前も行ったばかりだけど）カフェに寄る（他にいいところも知らないし）。小さいけれど（もう少し広いと友達も連れてきやすいんだけど）おいしい料理（パスタは絶品）とデザート（今日はデザート何にしよう）が自慢の店。店内には音楽が流れている（この曲なんていうんだろう）。お客さんは他にひとりだけ（空いてよかった）。花が飾られた（あの花初めて見るな）テーブル席に座っていた（きれいな人だな）。既に食事は済ませたらしく（どのパスタ食べたんだろう）、食後のコーヒーを飲みながら本を読んでいる（あの本ほしかったやつだ）。カウンターの端から二番目の席に座る（なんかここに座ってしまうんだよな）。日替わりメニューは 3 種類（どれにしようかな）。（よし、決めた）注文したのはペペロンチーノ（疲れた時にはニンニクがいいもんな）とジュース（歩きまわって喉乾いたし）。数分後（意外と早く来た）、注文の品がでてきた（おいしそう）。（んー、うまい）いつものとおりおいしい。シェフにおいしさの秘密を聞いてみる（そろそろ教えてくれてもいいだろう）が、「内緒」とかわされる（ちえっ）。しばらくすると（だれか来たみたい）、男性客がやってきた。二人組で、ひとは 24 歳くらいの長身（背高いなあ）。帽子をかぶっている（あの帽子は似あう人限られるな）。もうひとはやや年上の 30 歳くらい（先輩っぽい）で眼鏡をかけており（あの眼鏡、たぶん兄さんと同じだ）少し太っている（痩せてたらカッコいいかも）。二人は仕事仲間らしく（なんの仕事なんだろう）、長身の方が太っている方になにやら相談しているようだった（彼女との旅行の話みたいだな）。

43. 分離

よくれたの、にはい。

いのりにいつものカフェにる。

さいけれどおいしいとデザートがの。

にはがれている。おさんはにひとりだけ。

がられたテーブルにっていた。

にはませたらしく、のコーヒーをみながらをんでいる。

カウンターのからのにる。

わりメニューは3。

したのはペペロンチーノとジュース。

、のがでてきた。

いつものとおりのおいしい。

シェフにおいしさのをいてみるが、

「」とかわされる。

しばらくすると、がやってきた。

で、ひとは24くらいの。

をかぶっている。

もうひとはややの30くらいでをかけておりしっている。

はらしく、のがっているになにやらしているようだった。

晴 日 午後 昼食 遅 時間
買 物 帰 る
小 料理 自慢 店
店内 音楽 流 客 他
花 飾 席 座
既 食事 済 食後 飲 本 読
端 二番目 席 座
日替 種類
注文
数分後、注文 品

秘密 聞

内緒

男性客

二人組 歳 長身

帽子

年上 歳 眼鏡 少 太
二人 仕事仲間 長身 方 太 方 相談

44. 女子高生のブログ

今日はちょ一天気よかったし、渋谷で買い物したo(^▽^)o
お腹すいたからカフェ行ったけど、
渋谷はどこもいっぱいだった。しゅん(; _ ;)

結局、シモキタまで行ったよo(^▽^)o
あたしのおねえちゃんに教えてもらったとこだけど
マヂおすすめー♪
パスタ食べたけどおいしすぎたo(^▽^)o
ゆーこもおいしいってゆってたから
ぜったいだいじょーぶ(▽)

カフェのお客さんにｲｸｲいたけど
その人と一緒だった人がぜんぜんｲｸｲぢゃなくて
マジうけたww

ﾀｲｯﾄしよーってゆってたのに、
今日もたくさん食べちゃった(・ω・;)

45. 動詞の抜き出し

寄る 流れる 座る 済ます 飲む 読む 座る 注文する 出る 聞く かわす 来る
かぶる かける
相談する

46. 動作

見る 出掛ける 探す 見つける 買う 払う 受け取る 帰る 感じる 思う 決める
移動する 寄る 開ける 入る 閉める 見かける 座る 見る 迷う 決める 注文す
る 出される 拭く 持つ 食べる 噛む 飲み込む 味わう 飲む 飲み込む 味わう
聞く かわされる 気付く 見る 見る 聞く 推測する

47. らしい

よく晴れているらしい。昼を過ぎたらしい。昼食には遅い時間らしい。買い物の帰りにいつものカフェに寄るらしい。小さいらしいけれど、料理がおいしいらしい。デザートも自慢の店らしい。店内には音楽が流れているらしい。お客さんは他にひとりだけしかいないらしい。花が飾られているらしい。テーブル席に座っていたらしい。既に食事は済ませたらしい。食後のコーヒーを飲みながら本を読んでいるらしい。カウンターの端から二番目の席に座るらしい。日替わりメニューは3種類らしい。注文したのはペペロンチーノとジュースらしい。数分後、注文の品がでてきたらしい。いつものとおりのおいしいらしい。シェフにおいしさの秘密を聞いてみるが、「内緒」とかわされるらしい。しばらくすると、男性客がやってきたらしい。二人組で、ひとりは24歳くらいらしい。長身らしい。帽子をかぶっているらしい。もうひとりはやや年上らしい。30歳くらいらしい。眼鏡をかけているらしい。少し太っているらしい。二人は仕事仲間らしい。長身の方が太っている方になにやら相談しているらしい。こういうことらしい。

48. お客様サービスセンター

「お電話ありがとうございます。こちらシカクイデパートお客様サービスセンターでございます。」

「すみません、先日そちらのデパートで買い物をしたときに帽子を落としたようなんですが…」

「落とし物でございますね。確認させていただきますので、お客様の落とされた帽子の特徴をお教えいただけますでしょうか。」

「色はグレーで、形はハンチングです。」

「色はグレーですね。恐れ入りますが、グレーというのはねずみ色ということでよろしいですか。」

「はい。」

「大変恐れ入りますが、もう一点お聞きいたします。ハンチングとはどのような形状でしょうか。」

「前びさしのついた平たいやつです。」

「前びさしということは、野球帽のような形状ですか。」

「ちがいます。」

「では、麦わら帽子のような形状ですか。」

「いいえ。野球帽でも、麦わら帽子のような形でもないです。」

「では、どちらでもない形状ということで処理させていただきます。お客様が落とされたのはいつごろでしょうか。日付や時間はおわかりになりますか。」

「日付は、たしか先週の金曜日なので18日だったと思います。時間は午後7時しちじごろです。」

「18日金曜日の午後1時ですね。」

「いや、ちがいます。7時です。ああ、もういいです。」

ガチャ

これじゃあ見つかるまでにどれだけかかるかわからない。

新しいのを買った方が早そうだ。天気もいいし、買い物に行くか。

49. 反語

こんないい天気の日のに外出しないことがあるだろうか。(いやない。) バーゲンをやっているのに買物にいかないことがあるだろうか。(いやない。) 腹が減っているというのに、食事をしないということがあるだろうか。(いやない。) 小さいながらも味の良い料理を出す雰囲気のいい店に立ち寄らないことがあるだろうか。(いやない。) いつも座っている座席があいていたら座らないことがあるだろうか。(いやない。) 食事をしに来て好物がメニューにあったとき、注文しないことがあるだろうか。(いやない。) 注文し出された料理に手をつけないことがあるだろうか。(いやない。) 料理があまりにもおいしかったとき、その味の秘密を知ろうとしないことがあるだろうか。(いやない。) それほどまでにすばらしい店に他の客がこないということがあるだろうか。(いやない。)

50. 戯曲

『ある日の休日』

都内で働く会社員・レイ。よく晴れたたまの休みを満喫しようと、家を出る。

今日は買い物に行って、どこかでランチをしようと考えている。

(明転)

(買い物を終えたレイ。両手にたくさんの紙袋を提げている。)

レイ「あー、いいもの買えてよかった！やっぱりバーゲンってサイコーだわ。でも、すっかりお昼過ぎたわね。お腹すいちゃった。どこでごはん食べようかしら… そうだ！いつものあそこにしよう！」

(暗転)

(明転)

(カフェの扉を開ける)

レイ「やっぱりここがいちばんよね。ちょっと小さいけど料理はサイコーなもの。デザートもサイコーなのよね。」

シェフ「いらっしゃいませ。あ、こんにちは。いつもありがとうございます。」

(レイ、先客のテーブル席の女を見る。女はレイを気にしていない。)

レイ「空いてる時間でよかった～ 日替わりのペペロンチーノで。飲み物はジュースを。」

(カウンターに座る)

シェフ「はい。」

(シェフ、一旦裏にはける)

(シェフ、皿とグラスを持って登場)

シェフ「おまかせしました。ペペロンチーノとジュースです。」

レイ「いただきます～す！(食べる) う～ん、サイコー！いつ食べてもここのパスタはサイコーだわ。」

シェフ「ありがとうございます。」

レイ「ねえ、どうしてこんなにおいしくできるの？教えてよ。」

シェフ「いくらレイさんでも、それは教えられませんよ。」

レイ「もう、意地悪ね。」

(二人組の男がやってくる。ひとは24歳くらいの長身で帽子をかぶっている。もうひとは、30歳くらいの小太りで眼鏡をかけている。)

シェフ「いらっしゃいませ。」

(レイは長身の方を見てはっとする)

レイ「ひょっとして、タカシくん…？」

(暗転)

5.1. 合成語

超快晴日の午後。遅延昼食をとる。買物帰路で常通飲食店に寄る。小店舗ながら美味料理を出すところだ。店内音楽が絶えることはない。単独唯一客がいた。花添えテーブル席に座っていた。食後コーヒー付き読書を楽しんでいるようだった。着席後、3種類の飲料込み日替わり食事セットからペペロンチーノとジュースを選ぶ。数分後、既注文料理が出てきた。いつものとおりおいしい。シェフ的旨味鍵を聞いてみるも、「内緒」とかわされる。しばらくすると二人組男性がやってきた。帽子載せ長身青年と眼鏡添え小太り成人で、彼らは仕事仲間らしく、帽子載せ長身青年が眼鏡添え小太り成人に相談気味だった。

5 2. 津軽の人

よく晴れた日のちゃんくってから、昼食は遅い時間。買い物の帰りさむったどのカフェに寄り。ちっちゃいけれどめ料理とデザートが自慢の店。店内には音楽が流れていら。お客さんは他さひとりだけ。花が飾きやれたテーブル席に座っていた。既さ食事は済ませたきやしぐ、食後のコーヒーば飲みのがきや本ば読んでいら。カウンターの端はんで二番まなぐの席にねまる。日替りメニューは 3 種類。注文したのはペペロンチーノとジュース。数分後、注文の品がでてきた。むったどのどおりめ。シェフかまりしさの秘密ば聞いてみながら、「内緒」とが私さなら。しばきやぐすらど、オドゴ客がやてきた。二人組で、ひどりは 24 歳ぐきやいの長身。帽わらしばかぶっていら。もうひどりはやや年上の 30 歳ぐきやいでまなぐ鏡ばかけておりわんつか太っていら。二人は仕事仲間きやしぐ、長身の方が太っていら方さのさやしきや相談していらしうだった。

5 3. 名古屋の人

どえりゃー晴れた日の午後、昼食にはとれい時間。買い物の帰りにいつものカフェに寄るんやて。小さいけれどうみやー料理とデザートが自慢の店。店内には音楽が流れておるんやて。お客さんは他にひとりだけ。花が飾られたテーブル席に座っていたんや。既に食事は済ませたらしく、食後のコーヒーを飲みながら本を読んでおるんやて。カウンターの端から二番目の席に座るんやて。日替わりメニューは 3 種類。注文したのはペペロンチーノとジュース。数分後、注文の品がでてきたんや。いつものとおりのみやー。シェフにおいしさの秘密を聞いてみるが、「内緒」とかわされるんやて。ちーとばっかしすると、男性客がやてきたんや。二人組で、ひどりは 24 歳ぐきやいの長身。帽子をかぶっておるんやて。もうひどりはやや年上の 30 歳ぐきやいで眼鏡をかけておりちびっと太っておるんやて。二人は仕事仲間らしく、長身の方が太っておる方になにやら相談しておるようやったんや。

5 4. 京都の人

よお晴れた日の昼から、昼食にはとろい時間。買いもの帰りに毎度のカフェに寄ったんやしきかい。ちっさいけれどおいしおす料理とデザートが自慢の店。店内には音楽が流れとる。お人さんは他にひとりやけ。花が飾られたテーブル席に座ってはったんや。とーに御膳は済ませたらしう、食後のコーヒーを飲みもって本を読んではる。うちはカウンターのへりさかい二番目の席にかける。日替わりメニューは 3 種類。注文どしたのはペペロンチーノとジュース。数分後、注文の品を出してくれはった。毎度のとおりのみやー。シェフにおいしさの秘密を聞いてみるが、「内緒」とかわしはる。ちよつとの間しはると、おとし性お客はんがやてきた。二人組で、ひどりは 24 歳ぐきやいの長身。しゃっぽんをかぶつとる。ようひどりはやや年上の 30 歳ぐきやいで眼鏡をかけておりちびっとごんたくれ。二人は仕事仲間らしう、長身の方がごんたくれ方になにやら相談したはるようやった。

55. 高知の人

まっこと晴れとる日の午後、昼食にゃちいくと遅い時間。買い物かぶりにぎっちらのカフェに寄る。こんまいけんおいしい料理とデザートが自慢の店ぜよ。店内にゃ音楽が流れちゅう。お客さんは他にひとりばあ。まっこときれいな花が飾られたテーブル席に座っちゃったがじゃ。もう食事は済ませたらしく、食後のコーヒーを飲みながら本を読んじゅう。わしはカウンターの端から二番目の席に座る。日替わりメニューは 3 種類。注文したはペペロンチーノとジュースじゃき。数分後、注文の品がでてきた。ぎっちらのとおりおいしい。シェフかざしきの秘密を聞いてみるが、「内緒」らあわされる。しばらくすると、男がやってきた。二人組で、ひとりは 24 歳くらいの長身。帽子をかぶちゅう。はやひとりはちいと年上の 30 歳くらいで眼鏡をかけておりちくと太ちゅう。二人は仕事とぎらしく、長身の方が太ちゅう方になにやら相談しちゅうようじゃった。

56. 博多の人

ばり晴れとる日の午後、昼食には遅か時間。買い物かぶりにいつんでん行きよるカフェに寄るとよ。こまかばってんうまか料理とデザートか自慢の店たい。店ん中では音楽ば流しとんしゃあと。お客しゃんは他にひとりしかおらんやった。花ば飾つとるテーブル席に座つとったたい。既に食事は済ませたみたいでくさ、食後んコーヒーば飲みながら本ば読みよるとよ。カウンターん端がら二番目ん席に座つたつちやん。日で替わるメニューは 3 種類あるつちやけど、ペペロンチーノとジュースば注文したばい。ちいつと待つとつたら、注文ん品のでてきよつた。ちかっばうまかあ。博多やつたらうろんもうまかばってん、ここの味には博多のうろんも敵わんばい。シェフに「なしてこんなにおいしかと？」って聞いたとばってん、「そりゃあ、内緒くさ」げな。しばらくしゃべりよつたら、男が二人来たたい。ひとりは 24 歳くらいかいな、ばり背が高かとよ。また帽子がよう似あうと。もうひとりはちいとばかし年上の 30 歳くらいで眼鏡ばかけとつて、ちょこつと太つとつた。二人は一緒に仕事しよるらしくて、長身ん方が太つとる方になんやら相談しよつたばい。

57. メモ

- ・晴れた日の午後
- ・買い物帰り
- ・行きつけのカフェ（店は小さい、料理はおいしい）
- ・店内の音楽（レコードをかけている？）
- ・客1 テーブル席（花あり）、コーヒー、読書
- ・日替わりメニュー3種（✓ペペロンチーノ、カルボナーラ、ナポリタン）
- ・おいしさの秘密は「内緒」by シェフ
- ・客2 長身、帽子、24くらい
- ・客3 小太り、眼鏡、30くらい
- ・客2, 3は同僚？2が3になにか相談していた

58. 女子大生の mixi 日記

今日はヤバイくらい超晴れてた。

買い物してたらいつの間にか時間たって、昼ごはん食べれなかった。

お腹が空き過ぎてヤバかったから、いつものカフェでランチした。

最初はマイミクの人に教えてもらったところけど、

料理とデザートがまじヤバイ。

お店で流れてる音楽もヤバイ。最高。

（この前とか、思わずCD買っちゃったし。）

あたしがお店に行った時はランチタイム過ぎてたせいか

あんまり混んでなくて、他にお客さんひとりしかいなかった。

その人ももうごはんは食べちゃったみたいで、コーヒー飲みながら本読んでた。

カフェで本読むのってなんかいいよねー。

あたしもよくカフェで本読むよ。

今日はカウンター席に座った。

日替わりメニュー3つあってどれもおいしそうで選ぶのが超大変だったけど

ペペロンチーノにした。ここのランチはドリンクが付くから、ジュース頼んだ。

何分かしたら、料理来たんだけどまず見た目がヤバイ。超うまそうなの。

写メも撮ったよん。

で、お腹すき過ぎてヤバかったから、すぐ食べた。

そしたら、味もヤバかった。やっぱり、ここのは最高。

いつも行ってるけど、まちおすすめですよ。

そのあとの話なんだけど、
あたしがごはん食べ終わったあとくらいにお客さんが来たのね。
ひとりは24 くらいの背が高いおにいさんで、帽子がおしゃれな感じの人。
もうひとりは30 行か行かないくらいのちょっと太った男の人。
背が高いほうの人ちょっとかっこいいなって思ったんだけど、
なんか話の雰囲気では彼女居るっぽかった。ちょっと残念だったなー

59. 大正ロマン

よく晴れた日の午後、晝食には遅い時間。買い物の帰りにいつものカフェに寄る。小さくけれどおいしい料理とデザートが自慢の店。店内には音楽が流れてゐる。お客さんは他にひとりだけ。花が飾られたテーブル席に座っていた。既に食事は済ませたらしく、食後のコソヒキを飲みながら本を讀んでゐる。カウンターの端から二番目の席に座る。日替わりメニューは3種類。注文したのはペペロンチキノとジュース。数分後、注文の品がでてきた。いつものとおりおいしい。シェフにおいしさの祕密を聞いてみるが、「内緒」とかわされる。しばらくすると、男性客がやつてきた。二人組で、ひとりは24歳くらいの長身。帽子をかぶつてゐる。もうひとりはやや年上の30歳くらいで眼鏡をかけており少し太つてゐる。二人は仕事仲間らしく、長身の方が太つてゐる方になにやら相談してゐるやうだった。

60. ロールプレイングゲーム

きょうは てんきが いい。▼

【どうしますか?】

▶かいものに いく

いえで ごろごろ する

かいものに いくことに した! ▼

キチジョージに むけて しゅっぱつした。▼

デパートに とうちゃくした。▼

【どこに いきますか?】

▶ようぶく うりば

おもちゃ うりば

くつ うりば

ようふく うりばへ いった。▼
すてきなマフラー を てにいれた！▼

おや？ たいりょくが ほとんど のこっていない ようだ…▼
【どうしますか？】

コンビニの おにぎりを たべる
▶カフェの ごはんを たべる
いえに かえて ねる

カフェに いくことに した。▼
カフェの ばしょを まちのひとに きいた。▼

まちのひと「カフェは シモキタタウンに あるよ。 この ちずを あげよう。」▼
シモキタタウンのちず を てにいれた！▼

デンシャ で シモキタタウンに むかった。▼
カフェで ごはんを たべた。▼
たいりょくが 90かいふくした。▼

カフェにいた ひとから まほうのじゅもん を きいた！▼
しゅんかんいどう が できるようになった！▼

61. 武士

よくぞ晴れたでござる日が午後、昼餉には、遅み刻限。買み物が帰りに何時もが茶店に寄る。小じゃみなれどおいしゅう御座る料理であると甘味、自慢が商い所。商い所内には、雛子(はやし)、流れておる。客人殿は、他にひであるとのみにて。花、飾られたでござるちゃぶ台席に座りておりき。既に食事は、済ませたらしく、食後が黒豆出汁をば飲みながら書物をば読みてみる。かうんたーが端より式番眼が席に座る。日替わり品書きは、参種類。注文したでござるがは、ペペろんちーのであると甘汁。数分後、注文が品、にててきたでござる。何時もがであるとおりにおいしゅう御座る。しえふにやいしじゃが内密をば聞いてみるも「口外法度」等かわされるでござる。しばしするでござるであると、殿方客、やりてきたでござる。兩名組にて、ひであるとりは、年の頃式拾四歳くらみが長軀。笠をばやぶりてみる。まふひであるとりは、やや年上が参零歳くらみにてまなこ鏡をばやけておりいさぎか太りてみる。兩名は、奉公仲間らしく、長軀が者、太りてみる者になにやら談合致し候ようでござった。

62. 七五調

天気の良い日の お昼過ぎ
買物行った 帰り道
遅めの昼食 食べました

いつも行ってる そのカフェは
小さいけれど 良いお店
おいしい料理が そろってる
すてきな音楽 流れてる

たったひとりの お客さん
食事を済ませ 読書中
テーブル席で 読書中
コーヒー片手に 読書中

カウンターに 腰かけて
日替わりメニューを 見てみると
私のすきな あれがある

ペペロンチーノを 頼んだら
料理が来るまで 待っている
わくわくしながら 待っている

少し待った その後に
シェフが料理を 持ってきた
ひとくち食べると ああうまい
ふたくち食べても ああうまい

いつも変わらぬ その味の
秘密は何かと たずねても
「それは内緒」と かわされた

そしたらちょうど そのときに
二人の男が やってきた
帽子かぶった のっぽさん
眼鏡をかけた 小太りさん

二人はなにやら 話し出す
ひそひそ声で 話します

二人の話が 気になるが
私はそのまま 店を出た

6.3. 定義（概念の内容を限定すること）

よく晴れた日（雲量 2~8 の日）の午後（正午から夜 12 時）、昼食（昼の食事）には遅い（のろい）時間（時の長さ）。買い物（物を買うこと）の帰り（帰り路）にいつも（ふだん）のカフェ（喫茶店）に寄る（道の途中で訪れる）。小さい（大きくない）けれどおいしい（味が良い）料理（食物をこしらえたもの）とデザート（食事の最後に出す菓子）が自慢（自分で人に誇る）の店（商店）。店内（店の中）には音楽（音による芸術）が流れている（かかっている）。お客さん（商売で料金を払う側の人）は他（以外）にひとりだけ。花（種子植物の有性生殖にかかわる器官の総体）が飾られた（見せるために美しく並べられた）テーブル（食卓）席（座る場所）に座っていた（腰を掛けていた）。既に（以前に起こっている）食事（栄養分をとるために物を食べる）は済ませた（果たす）らしく、食後（食事のあと）のコーヒー（コーヒー豆を湯で浸出した褐色の飲料）を飲み（喉に流し込む）ながら本（書籍）を読んでいる（文字を見て意味をといていく）。カウンター（店の売り台）の端（へり）から二番目の席に座る。日替わり（日ごとに替わる）メニュー（献立表）は 3 種類（共通の性質によって分類しまとめたもの）。注文した（製作を依頼する）のはペロンチーノ（ニンニク、オリーブオイル、唐辛子を調理してソースとするパスタ料理）とジュース（果汁を加工した飲料）。数分後（幾分あと）、注文の品（売買の対象となる商品）がでてきた。いつものとおりのおいしい。シェフ（プロの料理人）においしさの秘密（人に公開しない内容）を聞いてみる（他人から伝え聞く）が、「内緒（内々の秘密であること）」とかわされる（身をひるがえして避ける）。しばらく（少しの間）すると、男性（男子）客がやってきた。二人組（二人で構成される集まり）で、ひとは 24 歳（とし）くらいの長身（背が高いこと）。帽子（頭にかぶって寒暑などを防ぐためのもの）をかぶっている（頭から覆うこと）。もうひとはやや（いくらか）年上（年齢が他より多いこと）の 30 歳くらいで眼鏡（不完全な視力を調整する器具）をかけており少し太っている（肉が肥えて厚みが増している）。二人は仕事（職業）仲間（同じ仕事をする）らしく、長身の方が太っている方になにやら相談（他人に意見を求める）しているようだった。

64. 目次

- 1 今週の天気
- 2 冬物は今が買い！各地デパートのバーゲン情報
- 3 【連載】知る人ぞ知る～下北沢の名店をたずねて～
- 4 特集 今、若い女性の中で「カフェ読書」がブーム！
- 5 自宅でプロの味 ペペロンチーノの作り方
- 6 美容にはジュースがいちばん!?
- 7 次は、「ミステリアス男子」がくる!!
- 8 この冬カップルで行きたい人気スポット BEST 5
- 9 今月の運勢カウントダウン
- 10 次号予告・読者プレゼント

65. 軍人

本日は晴天でありました。上等兵殿に命ぜられ、襟巻を買いに行ったのであります。宿舎への帰路の途中に最上にある喫茶店で昼食をとったのであります。小さいながらも料理や甘味が美味であります。店舗内部では外国語を用いた音楽が絶えず流れているのであります。本官は外国語を学んでおりますので、先の音楽が如何なる意味の曲であるのか理解することができるのであります。本官が店舗に突入した際には、来客は婦女ひとりでありました。上部に花を配置した食卓で左手に飲料用の食器を、右手には書物を装備して待機していたのであります。本館は飲食用の高机付近に待機し、三種ある日替わりの献立からニンニクトウガラシイリアブラカラメセイヨウメン（大蒜唐辛子入り油絡め西洋麺）とミカンジル（蜜柑汁）を料理長殿に依頼したのであります。依頼品を提供された直後、本官は味を確認したのであります。確認の結果、常時と差異なく美味であるということが判明したのであります。食後、店舗内に男性二名が突入してきたのであります。一方は、二十四歳頃の身丈六十寸程。一方は三十歳頃の重量約二拾貫。仲間同士であると判断した

のであります。秘密裏に談合を開始したため本官は二名を警戒したのでありますが、談合は恋人との外出に関連したものであり警戒の必要はないと判断し、店舗から脱出したのであります。

66. TO DO LIST

- マフラーを買う
- マンガの最新刊を買う
- いつものカフェに寄る
- シェフにおいしさの秘密を教えてください
- 写真を撮る

67. 童話

れいちゃんは おかあさんに たのまれて おつかいに いくことに なりました。「いいこと、おつかいが すんだら まっすぐ うちに かえってくるのよ。」おかあさんが いいました。れいちゃんは「はい。」と げんきよく こたえました。

れいちゃんは ぶじに おかあさんの おつかいを すませました。「おかあさんが いていたとおり まっすぐ おうちに かえらなくっちゃ。」と れいちゃんは おうちにむかって あるきはじめました。けれど、あるいても あるいても おうちに つきません。それに、すっかり おなかが すいて しまいました。

「うわーん、おうちに かえりたいよう。うえーん、おなかが すいたよう。」れいちゃんは とうとう なきだして しまいました。すると ないていた れいちゃんの ところへ ようせいさんが あらわれました。「れいちゃん なかないで。わたしの おうちで すこし やすんでいくと いいわ。」ようせいさんが いいました。

ようせいさんの おうちに つくと コックさんが ごちそうを つくってくれました。「さあ れいちゃん めしあがれ。」コックさんが いいました。「いただきまーす。」れいちゃんは ごちそうを ペろりと たべてしまいました。れいちゃんは おかあさんに このごちそうを たべさせたいと おもって コックさんに こう おねがい しました。「ねえ、コックさん。このごちそうの つくりかたを おしえてください。」れいちゃんは いいました。

「ごめんね、つくりかたは おしえられないんだ。そのかわり、こんど おかあさんを こ
こに つれておいで。そうしたら また つくってあげるよ。」コックさんはいいました。

「れいちゃん、そろそろ おうちに かえらないと おかあさんが しんぱい するわ。」
ようせいさんが いいました。

「もう みちに まよわないように あんないやくを つけてあげるわね。」ようせいさん
は そういつて おおきなひとを ふたり つれてきて くれました。

「ぼくたちが いるから もうだいじょうぶだよ。」ぼうしを かぶった おおきいひとは
いいました。

「さあ、いこう。」めがねを かけた おおきいひとがいいました。

こうして れいちゃんは ぶじに おうちに かえることが できました。

68. グルメナビ

Gourmet Navi グルメナビ

Cafe music (カフェ ミュージック)

[タグ]日曜日営業、分煙、ランチあり

評価(平均) ★★★★★☆ (4.18)

予算(平均) ¥1,000~¥1,999

【基本情報】

店名:Cafe music

ジャンル:カフェ

住所:東京都世田谷区北沢〇-△マスダビル5F

アクセス:下北沢駅 地図は[コチラ](#)

TEL: (※店側の希望により掲載しておりません)

営業時間:12時~22時

定休日:年末年始

【ロコミ】(3件)

■イチオシの店！

下北沢にある隠れた名店。よく利用します。

場所も駅から近くて便利です。

何よりも料理がおいしい！

特におすすめは…

…続きを読む

■また、行きたいです。

先日たまたま見つけて入りました。

落ち着いた雰囲気よかったです。

わたしはカルボナーラを頼みましたが、

おいしかったです。今度は…

…続きを読む

■何かと役立つ店

近所なのでよく行く。

飯もうまいし、酒も飲める。

あんまり値段も高くないので

後輩を連れて行っても…

…続きを読む

69. ラジオ

ジャパン放送をキーステーションにお送りしています、DJ ヤミーのオールナイトジャパン！今日のメールテーマは「休日の出来事」で募集中！採用されたかたには番組特製グッズをプレゼントしま〜す。つづいてのメールは東京都のラジオネーム・レイ99さんからで〜す。

「ヤミーさん、こんばんはー」

レイ99さんこんばんは！！

「この間の晴れの日買い物にでかけたんです。」

天気の良い日は家にいちゃだめだよね〜。ヤミーもこういう日にはよく散歩するよ。

「買い物が終わって疲れたので、行きつけのカフェで昼食をとることにしました。そこは小さいけど料理とデザートがすごくおいしいんです。お店で流れる音楽もセンスがいいです。」

こういうお店っていいよね～、知る人ぞ知る名店なのかな？どこにあるのかも教えてほしいなあ～

「実は悩みがあるんです。このお店には日替わりメニューが3種類あって、そこからひとつ選ぶんですけど、全部おいしくていつも迷ってしまってなかなか決めることができないんです。メニューだけじゃなくて、他の場面でもいつもなかなか決断ができなくて困っています。ヤミーさん、どうしたらすぐに決断できるようになりますか？」

う～ん、これはなかなか難しいね… 実はヤミーも優柔不断な方でね、レストランではいつも注文に時間がかかってしまうんだよね。ひとりのときはいいんだけど、友達と一緒にときは待たせるのが申し訳ないよね～ こういうときはね、ヤミーはまず店員さんと呼んで自分にプレッシャーをかけるようにしてるよ。レイ99さんのメールによれば行きつけのお店のメニューはどれもおいしいみたいだから、この方法でも失敗しないんじゃないかな。優柔不断な人がすぐに決断するための秘訣は、どうしてもすぐ答えを出さなきゃいけない状況をつくるってことかな。レイ99さんも今度はこの方法をぜひ試してみてください！お便りどうもありがとう！レイ99さんには番組特製のステッカーをプレゼントします～～！レイ99さんステッカー使ってね！ここで一旦CMで～す。このあとも午前1時まで放送は続くよ！メールどんどん送ってね！！

70. 占い

今日のあなたの運勢は12星座中、第5位です。仕事や勉強の疲れが少しでてくるころですが、だからといって家に閉じこもって一日を過ごすことは好ましくありません。出来るだけ外出するようにしましょう。特に買い物に行つて新しいアイテムを手に入れると仕事運が上昇します。金運に関しては、出費はかさむ傾向。ただし、この出費は後々あなたを助けてくれることとなります。未来の自分への投資だと思ひましょう。おいしいものを食べるのも◎。恋愛運は停滞気味。素敵だと思ひえる人に出会えそうですが、その人との恋が発展することはあまり望めません。

【幸運のヒント】 パスタ、チョコレート、ジャケット、マフラー、帽子、オレンジ、ブラウン、カフェ、図書館

71. 今日のおじいさん

よお晴れとつたのお。ばあさんに頼まれて買い物に行つたんじゃが、あれこれと見ているうちにすっかり腹が減つてしまつたのお。どつかで昼飯でも食べようと思つたのお、孫に連れて行つてもらつてから気にいつとるレストランに行つたんじゃ。場所を覚えるまでは苦勞したんじゃが、ええ店じゃよ。わしのようなじいさんにも親切にしてくれてのお。あそこのコックさんはええ人じゃ。まるで若いころのわしのようなじゃ。ほっほっほ～ 美

人のお嬢ちゃんも来ておったのお。かなりのべっぴんじゃった。いかんいかん、こんなことばあさんに知られたら大変じゃ。わしは、あのお、なんて言ったかのお、伊太利亜ちゅう国の料理を頼んだんじゃ。ええと…、そうじゃ、ペロペロチーノじゃ。わしはあれがすきなんじゃ。ハイカラじゃろ？すぐコックさんが作ってくれてのお、それはそれはうまかったぞ。わしはあと何回あの味が食べられるかのお。あと 100 回は食べたいのお… そのあとどうしたのか知りたいじゃと？そうじゃなあ、忘れてしもうたわい。ほっほっほ～

72. 業界人

ピーカンの午後！昼食にはそいお一時間！買い物の帰りにいつものカフェに寄るところで、中継車へドンッ！さいちーけれどしいお一料理とデザートが自慢の店！店内には音楽が流れているところで、A スタへドンッ！お客ちゃんは他にひとりだけ！花が飾られたブルテー席に座っていた！既にあごは済ましえたらしく！食後のコーヒーを飲みながら本を読んでいるところで、ひきの絵をドンッ！カウンターの端から二番目の席に座るところで、アップの絵をドンッ！日替わりメニューは 3 種類！注文したのはペペロンチーノとすーじゅー！数分後！注文の品がでてきた！いつものとおりしいおー！シェフにいしいしゃの秘密を聞いてみるが！「内緒」とかわしゃれるところで、B スタへドンッ！らくしばるーすーと！ちゃんに一客がやってきた！二人組で、3 キャメさんフォーカス効かしてでドンッ!!ひよりは 24 歳らいくーの長身！帽子をかぶっているところで、帽子のアップ！もうひよりはやや年上の 30 歳らいくーで眼鏡をかけており少しい太っているところで、ちょっと巻いて行こう！二人は仕事ナマカらしく！長身の方が太っている方になにやら相談しているようだった。ハイ！カット！撤収～！！

73. 中年男性のぼやき

天気がいいから買物に出たものの、財布の中身が乏しくて、欲しかったものもほとんど買えなかった。一生懸命働いてもおれに残るのは小遣い程度。ああ、やってられないぜ。昼ごはんを食べていなかったのも、よく行く店に行った。広くはない店だが、料理もうまいし、値段も安い。おれの財布にやさしい店だ。しかも、店で流れる音楽は、おれが青春時代に聴いていたようなやつばかりだから懐かしい気分にも浸れる。いちばん忙しい時間をさけたおかげで店は空いていた。うちの娘と同一年くらいの子がテーブル席に座っていた。食後のコーヒーを飲みながら本を読んでいる。こういう店で静かに本を読むなんて、うちの娘とは大違いだ。おれはカウンターの端から二番目の席に座る。若いころはカウンター席ってのは苦手だったが、この年になるとカウンターで店の人と話すのが楽しくなってくるから不思議だ。おれは日替わりメニューからペペロンチーノとジュースを頼んだ。ほんとはビールでも飲みたいんだが、カミさんにばれるとうるさいのでやめておく。我な

がら情けないぜ。数分後、注文の品がでてきた。いつものとおり良い味をしている。シェフにそれとなくおいしさの秘密を聞いてみるが、「内緒」と相手にしてくれなかった。しばらくすると、俺よりずっと若い男性客がやってきた。二人組で、ひとは24歳くらいだろうか。背が高く、いかにもモテそうな感じが癪に障る男だ。キザな帽子をかぶっている。もうひとはそいつよりちょい年上の30歳くらいで、眼鏡をかけた丸っこい男だ。どうやら二人は同僚で先輩後輩の関係と見た。長身が太っている方に彼女との旅行について相談しているようだった。ああ、うちの娘の彼氏があんなちゃらちゃらした男だったら嫌だなあ。

74. エッセイ

寄り道

突然ですが、あなたは寄り道をする人ですか。しない人ですか。私は寄り道をしてしまう人間です。締切が迫っているのに馴染みの店に寄り道をしてしまう。そんな自分に情けなくなることがたびたびあります。しかし、人間が同じところに通ってしまうのは仕方のないことらしいのです。人間のからだには太古からの記憶があって、身の安全を確保できる集団や場所を作る習性を人間はもっています。同じところに通ってしまうのは、単に習慣になっているということだけでなく通ってしまう場所に安心感を得られる何かがあるからなのです。

私がつい通ってしまうところというのは、下北沢にある小さなカフェです。腕のいいシェフがいつもおいしい料理を出してくれます。お店ではちょっと懐かしい時代の音楽が流れています。テーブルの上の季節の花や旬の素材を使った料理など細かな気配りが行き届いた店です。つい先日も、締切から逃れるためにここへ寄り道をしました。私の他にいたのは若い女性ひとりで、彼女はコーヒーを飲みながら読書をしていました。私が食事を終えたあとにも、若い男性が二人やってきました。彼らはなにやら楽しげに相談をしているようでした。この店が私にとって大切な寄り道の目的地であるように、彼女や彼らにとってもここは大切な場所だろうということは表情からよくわかりました。どこかほっとしたような顔をしていたのです。

寄り道は時間や体力の無駄だと思う人もいるかもしれませんが、私はそうは思いません。寄り道をしたせいで締切を守れなくなりそうになったことが何度もありますが、考えが煮詰まった時にアイデアのヒントをくれるのも寄り道であることが多いのです。ぜひ、皆さんも「寄り道」試してみてください。

75. 主婦の本音

バーゲンはやっぱり混むわね。今日はお天気もいいし、お休みの日だからどこも混んで疲れたわ。でも、うちの旦那の給料じゃバーゲンにでも行かないと家計が苦しくって。がんばった甲斐があって、ほとんど半額で手に入っちゃった～ このランチ代を考えてもかなり節約できたし、自分で言うのもなんだけど私って賢い主婦だと思うわ。お昼のピークは過ぎたからお店も混んでなくてうれしい。私以外にはひとりだけお嬢さんがいるけど、彼女みたいにおしとやかで静かに読書を楽しめるような人がうちの息子の嫁になってくれればいいのに。長男の嫁はかわいらしい子だけど、ちょっと常識外れてるのよね。まあ、息子が選んだ人だから仕方がないんだけど… そんなことを考えていたら頼んだペペロンチーノが出てきた。疲れもふっとぶようなおいしさ。料理は得意な方だけど、パスタはぜったいに勝てないと思うわ。そう思うからこそここに来ちゃうんだけど。シェフにどうやったらおいしいパスタが作れるか何度も聞いてみてるけど、いつも教えてくれないのよね。やっぱりなにか秘密があるのよ。食べ終わってこのあとどうするか考えていたら、男の子が二人店に入ってきた。ちょうどうちの子と同じくらい。背が高い方が割とハンサムだったから、ちょっと気になっちゃった。彼女と行く旅行についてももうひとりに相談してるみたいだけど、あんなモテなさそうな人に相談するなんてちょっと抜けてるのかしらね。

76. メール

(件名) やっほー♪

(本文)

今日は買い物行ってから
いつものところでランチしました。
おいしかったよ～
今度は一緒に行こうね★

(件名) Re:やっほー♪

(本文)

今日天気よかったから
混んでたでしょう？

今度は誘ってね～(^_^)/～

(件名) Re:Re:やっほー♪

(本文)

それがさ、お昼すぎてたから
行った時はひとりしかお客さんいなかったよ。
ラッキー (^ v ^) v

了解！今度は行く前にメールするわ。

それじゃあ、またね～

(件名) Re:Re:Re:やっほー♪

(本文)

ばいばーい(^_^)/～
またね☆三

77. 川柳

女子ひとり コーヒー片手に 読書する
かわらない おいしさたもつ シェフの腕
若人が 旅路の末を 憂いけり

78. テスト I

(小学生の算数)

【1】() の中に正しい答えをかきましょう。

[10てん]

たろうくんは、お母さんといっしょに食事に行きました。

ふたりがお店に入ると、コックさんとお客さんがひとりいました。

そのあとお客さんが3人来て、さいしょにいたお客さんは帰りました。

もんだい：今お店には() 人の人がいて、そのうち() 人がお客さんです。

【2】() の中に正しい答えをかきましょう。

[15てん]

今お店に4人いるとします。4人をせが高いじゅんにならべてください。

下のヒントをつかきましょう。

ヒント

- ・コックさんはたろうくんのお母さんよりもせが高いです
- ・たろうくんが4人のなかでいちばん小さいです。
- ・コックさんはぼうしのお兄さんより大きいです。

もんだい：コックさんは、4人の中で() ばんめに大きい。

79. テストⅡ

(中学生の英語)

Question 1 1～6の単語の意味を日本語で書きなさい。

【1点×6】

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 1 dessert () | 4 order () |
| 2 desert () | 5 usual () |
| 3 already () | 6 colleague () |

Question 2

次の日本語を英語になおしなさい。ただし、[]の単語を必ず使い、必要があれば適当な形にすること。

【3点×3】

- 1 私が店に着いた時、客はひとりしかいなかった。[arrive]
- 2 私は彼においしさの秘密を尋ねたが、彼は教えようとはしなかった。[never]

Question 3 次の英文を日本語に訳しなさい。

【5点×1】

It seems that she has already finished eating and was reading the book while drinking coffee.

80. テストⅢ

(センター試験の国語)

第2問 次の文章はある物語の一説である。主人公は平凡な会社員会社で、抜粋した部分は主人公が休日に遭遇した出来事である。これを読んで問1～問3に答えよ。

〔配点20〕

よく晴れた日の午後、昼食には遅い時間。買い物の帰りにいつものカフェに寄る。小さいけれどおいしい料理とデザートが自慢の店。店内には音楽が流れている。お客さんは他にひとりだけ。花が飾られたテーブル席に座っていた。すでに食事は済ませたらしく、食後のコーヒーを飲みながら本を読んでいる。カウンターの端から二番目の席に座る。日替わりメニューは3種類。注文したのはペペロンチーノとジュース。数分後、注文の品がでてきた。いつものとおりのおいしい。シェフにおいしさの秘密を聞いてみるが、「内緒」とかわされる。しばらくすると、男性客がやってきた。二人組で、ひよりは24歳くらいの長身。帽子をかぶっている。もうひよりはやや年上の30歳くらいで眼鏡をかけており少し太っている。二人は仕事仲間らしく、長身の方が太っている方になにやら相談しているようだった。

問1 下線部_____を漢字にした場合、適当なものを選びなさい。

- ①素手に
- ②酢で煮
- ③既に

問2 点線部_____のときの主人公の気持ちとして最も適切なものを二つ選びなさい。

- ①「はやく、料理こないかな」
- ②「課題の提出日を忘れていた」
- ③「テーブル席の人が読んでいるのは何の本だろう」
- ④「あの背が高い人の帽子かっこいいなあ」

問3 傍線部_____に近い意味を持つ形容詞を次の中から一つ選びなさい。

- ①鼠の背
- ②猫の額
- ③像の目

81. ことわざ

早起きは三文の徳というとおりの、今日は早く起きたおかげで洗濯を済ませてから買物に出かけられた。少しお金を使い過ぎたが、金は天下の回り物であって、いつか自分のところに戻ってくるだろう。帰って部屋を片付けようと思うけれど、腹が減っては戦ができぬ、と帰りにいつものカフェに寄る。猫の額ほどだけれど、おいしい料理とデザートが自慢の店。店内には音楽が流れている。お客さんは他にひとりだけ。有名モデルに瓜二つの二人

だった。まさに傾国とは彼女のような人のこと。花が飾られたテーブル席に座っていた。既に食事は済ませたらしく、食後のコーヒーを飲みながら本を読んでいる。私はカウンターの端から二番目の席に座る。日替わりメニューは3種類。あれもこれも食べたかったが、腹八分目に医者いらず、食べすぎはよくないのでペペロンチーノとジュースだけを頼んだ。数分後、注文の品がでてきた。とてもお腹が空いていて、飢えては食を択ばず状態だったとはいえ、ここの料理は格別においしい。シェフにおいしさの秘密を聞こうと鎌をかけてみるが、「内緒」とかわされる。しばらくすると、男性客がやってきた。二人組で、ひとりには24歳くらいの長身。女を目で殺すのが得意そうな色男で帽子をかぶっている。もうひとりはやや年上の30歳くらいで眼鏡をかけており少し太っている。長身の方が顔立ちは美しいが、人は見目よりただ心というように、太った男の方が人が好きそうに思えた。二人は仕事仲間らしく、長身の方が太っている方になにやら相談しているようだった。本人たちはこっそり話し合っているつもりらしいが、話の内容が聞こえてくる。壁に耳あり障子に目ありなのである。色男が恋人と出掛ける旅行の計画を慎重に立てているのを見て、意外にも石橋を叩いて渡るタイプの男なのかと思った。しかし、後悔先に立たずというように事前に十分注意するに越したことはない。

82. 映画予告

奇跡の感動作、ついに映画化！全米が泣いた！！

『よりみち』でアカデミー賞監督賞を受賞したマイケル・ジョージ監督の最新作が早くも日本で公開。前作『サニー・デイ』に引き続き、旅行で行った日本に惹かれ、日本に移住した主人公の何気ない日常を描いた本作。映画化に先立ちマイケル監督が自ら執筆した原作が世界16カ国で大ヒット！満を持して今作が公開となる。主演はアカデミー賞ノミネートのトミー・クルーズ。笑いあり涙あり、この冬必見の一本です。

【あらすじ】

平凡な毎日を送るジャック（トミー・クルーズ）は、旅行で訪れた東京で小さなカフェを見つける。日本語のわからない彼がそこで出会ったものとは…

83. 新刊案内

室鳥社の新刊案内

『あのカフェがぼくをかえたーグルメナビ設立までのあゆみー』

(室鳥社、1,200円〔税抜き〕)

著者プロフィール

山口太朗 (やまぐち・たろう)

グルメ評論家。国内外の飲食店を自らの足で訪れその評価を書きつづったブログがアクセス数1位を誇る。もともとは会社員で食べることは趣味のひとつにすぎなかったが、次第に通っていた店の味を探究し始める。同時にブログも開設。文章の読みやすさ、批評の的確さが口コミで広まり約半年でアクセスランキング第1位に輝く。ブログの記事を本にまとめた『ミール・レコード』の出版を機に会社を退職し、グルメ評論家としての活動をはじめた。昨年グルメ情報サイト「グルメナビ」を設立。

公式ブログ「新ミール・レコード」<http://www.mealrecords.cop>

山口太朗さんからのメッセージ 平凡な会社員だったぼくがグルメ評論家になるまでの道を書いた本です。ブログとはまた違ったぼくを知っていただけるとおもいます。少しだけ本の中身の話をすると、ぼくが作った「グルメナビ」の3名のスタッフはたまたま行きつけのカフェで出会ったんです。彼らなしでは今のぼくはなかったと思います。出会いの場面も本に書いてあるのでぜひ、読んでくださいね。」

84. カタコト

トテモ天気ガ ヨカタカラ、shopping ニ イキマシタ。

シンジユクデ shopping シテ ソノアト シモキタニ イコト オモタダカラ、

オダ キュウセンニ ノラナキャ デショー?

エキデ ジャック (ア、ボクノコトネ) ハ「コレハ オダ キュウセン デスカ?」テ キイタデス。

シンセツナ ヒトガ 「コレハ ヤマノテセン デス。オダ キュウセン アッチ。」オシエテ クレマシタ。

シモキタニ ツイテ lunch タベマシタ。

ジャック オキニイリ アリマス。 トモダチガ オシエテ クレマシタ。

オミセ チチャクテ オイシイ デス。

ジャックト カワイイ Japanese girl オキヤクサン デシタ。

Peperoncino ヲ order シテ タベマシタ。

It was soooooo delicious!!

Chef ト オハナシ シテタ。

オトコ フタリ キマシタ。

They discussed secretly. ダケド チョト キコエタ。

チョト ニホンゴ ワカッタデ ウレシイダッタ。

ジャック モト ニホンゴ ベンキョ シマス。

85. 略式

よく晴れの午後、昼遅。買い帰りがてらいつカフェで遅ランチ。小カフェだけど飯うま。店音もいい。花載せテーに客1いた。既食後、後コー飲んで本読み。カウ端側に座る。日替わり3つ。ペペ・ジュー注文。料理、すぐ出来。いつうま。飯うまのコツ聞いた、シェフそれを拒否。ちょい待ちで2メン来た。24デカ、帽子付きと30ちょい太眼鏡。デカが太に相談。

86. 赤ちゃん

Z z z... Z z z...

うー、うー。うー。

おぎや—————

ぎや—————

うっ、うっ、んー

うう…

Z z z... Z z z...

あー。あー。あうー。

ばーぶ!

Z z z... Z z z...

Z z z... Z z z...

Z z z... Z z z...

87. 落語

毎度お騒がせしておりますが、ちょっとばかりお付き合いいただこうかなんて思いましてね。今回は食事処のお話。商人の権兵衛はどこかへ出かけては、寄り道してくるような男でしてね。権兵衛が鼻屑にしていたのはすばげってえとかいう西洋の料理を食べさせる店でございました。権兵衛は他では食べることのできない味の虜になっていたというわけなんです。権兵衛は店に行っては旦那にすばげってえについて聞きます。

なあ、旦那いい加減、そのすばげってえの作り方を教えてくれねえか。

いくらあんたの頼みだからってそれだけではできねえなあ。

するって一と何かい？おれはこれから先もすばげってえが食いたくなったらわざわざここに来なきゃなんねえってのかい。

そうだよ。おまえさんが来てくんなきゃ、うちは商売あがったりでい。

勘弁してくれよ。すばげってえが食べたくなるたびにここに来てたらおれの小遣いなくなっちゃうよ。なあ、頼むよ旦那。教えてくれよ。

そこまで頼まれたんじゃあ仕方ねえな。特別に教えてやろう。

するって一と、おれにもすばげってえが作れるようになるってことかい？

そうだよ。覚えるのは割かし大変だから、よおく見ておいとくれよ。

その後、すばげってえ屋の旦那と権兵衛は二人で商いを始めることになったわけです。二人が町のみんなにすばげってえの作り方を教えてやったおかげで、今のあたしたちは、パスタなんてしゃれた食べ物をいただけるわけなんですねえ。パスタ好きのあたしは二人に感謝しきれない、なんてことを常日頃から考えております。おあとがよろしいようで。

88. 直喩

沖縄の海のように青い空が広がる日の午後、昼食には遅い時間。宝探しの様な買い物の帰りにいつものカフェに寄る。ワンルームのマンションのように小さいけれど舌がとろけるようなおいしい料理とデザートが自慢の店。店内にはリオのカーニバルのような音楽が流れている。お客さんは妖精のように美しい女性がひとりだけ。花が飾られた卓球台のようなテーブル席に座っていた。既に食事は済ませたらしく、黒豆のように漆黒の食後のコーヒーを飲みながら通販カタログのように厚い本を読んでいる。サーフボードのようなカウンターの端から二番目の席に座る。日めくりカレンダーのように変わる日替わりメニューは3種類。注文したのは細いうどんのペペロンチーノと果物そのもののようなジュース。

数分後、ファストフードのお店のようにすばやく注文の品がでてきた。いつものとおりおいしい。熊のようなシェフにおいしさの秘密を探偵のように聞いてみるが、「内緒」とスパイのようにかわされる。しばらくすると、嵐が来たような音を立てて男性客がやってきた。二人組で、ひとは24歳くらいでモデルのような長身。ピエロのような帽子をかぶっている。もうひとはやや年上の30歳くらいで、瓶底のような眼鏡をかけており小柄な格闘家のように少し太っている。二人はアニメのルパン3世と次元大介のような仕事仲間らしく、長身の方が太っている方に政治家がするように相談しているようだった。

89. 隠喩

空に海が広がる日の午後。帰りにいつもの避難所に寄る。中ではごちそうが振る舞われる。眠りに誘う音が流れているが、腹に空き箱を抱えたおれには関係ない。非難してきていたのは、一匹の蝶。花に惹かれてきたのだろう。ごちそうを味わい満足げなその蝶は文字の世界に飛び立ってしまった。おれは自分の居場所を見つける。血肉となるパンとワインを要求した。身にしみる。パンとワインに隠された謎を知ろうとするおれに、主人はたった一言「鍵のかかった宝箱さ」と言った。また二人避難してきた物がいた。若いキリンとタヌキだ。キリンはタヌキになにやら耳打ちしていた。

90. 文法の訓練

練習. 文節ごとに区切りなさい。

よく/晴れた/日の/午後、/昼食には/遅い/時間。買い物/の/帰りに/いつもの/カフェに/寄る。小さいけれど/おいしい/料理と/デザートが/自慢の/店。店内には/音楽が/流れている。お客さんは/他に/ひとりだけ。花が/飾られた/テーブル席に/座っていた。既に/食事は/~~済ませた~~らしく、/食後の/コーヒーを/飲みながら/本を/読んでいる。カウンターの/端から/二番目の/席に/座る。日替わりメニューは/3種類。注文したのは/ペペロンチーノと/ジュース。数分後、/注文の/品が/でて/きた。いつもの/とおり/おいしい。シェフに/おいしさの/秘密を/聞いて/みるが、/「内緒」と/かわされる。しばらく/すると、/男性客が/やって/きた。二人組で、/ひとは/24歳くらい/の/長身。帽子を/かぶって/いる。もう/ひとは/やや/年上の/30歳くらいで/眼鏡を/かけて/おり/少し/太っている。二人は/仕事仲間らしく、/長身の/方が/太って/いる/方に/なにやら/相談しているようだった。

「らしい」は助動詞ですから文節を区切ることはできません。注意しましょう。

9 1. スパイごっこ

(1 頁)

重要な連絡がある。携帯電話を使って、別紙の暗号を解読せよ。

なお、この手紙は開封後 1 分で消滅する。君の健闘を祈る。

—M

(2 頁)

3・2 7・5 2・2 4・1 5・5 7・2 3・4 4・4*

1・5 0・3 5・1 5・2 1・1 1・4

3・1 2・1 3・1 7・1 5・5 6・5 0・3 2・1*

7・4 3・2* 9・3 3・2 4・1*

1・5 4・5 2・5 5・2 6・1 4・2 8・2* 1・3 1・2 3・4 8・3

9 2. 名

よく晴れたサトウのスズキ、タカハシには遅いタナカ。ワタナベのイトウにいつものヤマモトに寄る。小さいけれどおいしいナカムラとコバヤシがサイトウのカトウ。ヨシダにはニシムラが流れている。ササキはヤマグチにひとりだけ。マツモトが飾られたイノウエに座っていた。既にキムラは済ませたらしく、ハヤシのコーヒーを飲みながらシミズを読んでいる。ヤマザキのイケダから二番目のアベに座る。モリは 3 ハシモト。注文したのはヤマシタとイシカワ。数分後、ナカジマのマエダがでてきた。いつものとおりの味。フジタにおいしさのオガワを聞いてみるが、「オカダ」とかわされる。しばらくすると、ゴトウがやってきた。二人組で、ひとは 24 歳くらいのハセガワ。イシイをかぶっている。もうひとはややムラカミの 30 歳くらいでコンドウをかけており少し太っている。二人はサカモトらしく、エンドウのアオキが太っているフジイになにやら相談しているようだった。

9 3. 体言止め

よく晴れた日の午後。昼食には遅い時間。買い物の帰りにいつものカフェへ寄り道。小さいけれどおいしい料理とデザートが自慢の店。店内に流れる音楽。他のお客さんは 1 人。花が飾られたテーブルに着席。既に食事は終了。食後のコーヒーを飲みながら読書。カウンターの端から二番目に着席。日替わりメニューは 3 種類。注文したのはペペロンチーノとジュース。数分後、出てきた注文の品。いつものとおりの味。シェフに尋ねたのはおいしさの秘密。しかし、返ってきた答えは「内緒」。しばらくすると、男性客が来店。二人組で、ひとは 24 歳くらいの長身。着帽。もうひとはやや年上の 30 歳くらいで眼鏡着用。小太り。二人は仕事仲間。長身の方が太っている方になにやら相談中。

94. 過去の人

よく晴れた日の午後、**E 電**に乗って買い物へ。**ナウい**お店で**ハウスマヌカン**に勧められた**おニュー**のマフラーを買った。帰りにいつものカフェに寄る。小さいけれどおいしい料理とデザート（特に**ティラミス**）が自慢の店。店内には音楽が流れている。たぶんあの歌手の**LP**の**B 面**だろう。お客さんは他にひとりだけ。**スッチー**でもやってそうな**イカした**美人。なんとかっていう女優に**クリソツ**。たぶん**ジモティー**ではない。花が飾られたテーブル席に座っていた。既に食事は済ませたらしく、食後のコーヒーを飲みながら**トレンド**な本を読んでいる。カウンターの端から二番目の席に座る。日替わりメニューは3種類。「**ペペロンチーノ**とジュースを**4649!**」と注文した。シェフも「**アイアイサー!**」と答える。数分後、注文の品がでてきた。「**インド人もびっくりのおいしさ**」だと感想を伝える。「**あたボウよ。**」と嬉しそうに答えるシェフにおいしさの秘密を聞いてみるが、「**内緒。アイ・アム・ソーリー・ひげそーりー。**」とかわされる。しばらくシェフと**だべ**っていたら、男性客がやってきた。二人組で、ひとりは**24 歳**くらいで**タツパ**がある。**シティボーイ**っぽく帽子をかぶっているけど、きっと**頭はピーマン**。顔は**シビれる醤油顔**なものにもったいない。もうひとりはやや年上の**30 歳**くらいで眼鏡をかけていて少し太っている。**とつくりのセーター**を着ているから、なんだかちょっと**エリマキトカゲ**みたい。二人は同じ会社の**ネクタイ族**らしく、長身の方が太っている方になにやら相談しているようだった。お腹一杯になったしそろそろ私は**ドロン**しよう。

95. 2010 年の人

よく晴れているけど肌寒い日。夏場の**酷暑**がうそのようだ。昼食には遅い時間だったが、買い物の帰りにいつものカフェに寄る。**iPad**を使って見つけた小さいけれどおいしい料理とデザートが自慢の店だ。店内には音楽が流れている。お客さんは他にひとりだけ。**山ガール**っぽい雰囲気の人。きっと**女子会**を開いている**リア充**なのだろう。彼女は花が飾られたテーブル席に座っていた。既に食事は済ませたらしく、食後のコーヒーを飲みながら**断捨離**の本を読んでいる。彼女がテーブルに置いていた本はどうやら**パワースポット**案内と『**もしドラ**』らしい。カウンターの端から二番目の席に座る。日替わりメニューは3種類。注文したのは**食べるラー油**を使った**ペペロンチーノ**とジュース。待っている間は**iPhone**で**K-POP**や**AKB48**を聴きながら、**Twitter**で「**シモキタなう。**」とツイート。注文の品がでてきた。いつものとおりおいしい。シェフにおいしさの秘密を聞いてみるが、「**いい質問ですねぇ!**でも、**内緒。**」とかわされる。しばらくすると、男性客がやってきた。二人組で、ひとりは**24 歳**くらいの長身。帽子のおにい△。もうひとりはやや年上の**30 歳**くらいで眼鏡をかけており少し太っている。ぱっと見た感じだと、**ネットゲ廃人**。二人は仕事仲間らしく、長身の方が太っている方になにやら相談しているようだった。話声が**ダダ漏れ**で続きが気になるが、わしは家に帰る**ぜよ!**

96. ルール

(1) 傘

- ・傘を常備することが望ましい。(指定の傘を購入する場合には補助金あり.)
- ・まず、天気予報で降水確率を確認すること。
降水確率 60%以上→折りたたみ傘を必ず持参する。
降水確率 60%未満→各自の判断に委ねる。

(2) 食事

- ・一日三食、欠かさず摂ること。やむを得ず時間外に摂る場合は前後の食事を十分に配慮すること。
- ・食堂で提供されるメニューは、各自好きなものを選ぶことができる。ただし、それ以外の場所で食事をする場合は巻末の表を用いて栄養価を計算すること。
- ・できるだけひとりでの食事はさけること。もし、ひとりで食事をしている物を見かけた場合は積極的に相席を申し出ること。
- ・毎日 350 グラム以上の野菜を摂取することを義務付ける。
- ・なお、野菜ジュースは認めない。
- ・一日の総摂取カロリーの目安は以下の通りである。

【男性】 2400 kcal

【女性】 2000 kcal

(3) 音楽

- ・自室での音楽鑑賞は自由であるが、ボリュームは最大で 12 とする。
- ・MP3 プレーヤーなどを用いて移動中に音楽を聴くことは断固禁止する。
- ・友人間での LP、CD、MD の貸借・譲渡・売買は禁止する。処分する場合は事務局に申し出ること。

(4) 配置

- ・各自の配置は事務局の指示に従うものとする。
- ・原則的に変更は認めない。やむを得ない事情で変更する場合、所定の手順で手続きを行うこと。

(5) 情報保護

- ・他人についてやたらと詮索するなどして、むやみに他人のプライバシーを侵害してはならない。
- ・資料の取り扱いには十分注意すること。事務局から配布資料を公共の場で開く場合は十分注意すること。
- ・機密事項に関する議論は必ず第三者から隔離された場所で行うこと。
- ・いかなる議題であっても、パブリックスペースでの会議は禁止する。
- ・事務局から機密として伝えられていることは決して口外してはならない。
- ・もしも、情報漏洩が発覚した場合は直ちに処分する。

97. ていねいに

よく晴れた日の午後、昼食には遅い時間のことでございます。買い物へ参って自宅に帰らせていただく途中で、いつもお世話になっているカフェに伺いました。小さいけれどおいしいお料理とデザートがご自慢のお店でございます。お店の中ではオーナーの福田様がお選びになった音楽が流れるように配慮されています。お客様は当方の他にひとりだけいらっしゃいました。お花が飾られたテーブル席に座っていらっしゃいました。既にお食事お済みになったご様子で、お食事後のコーヒーを召しあがりながら本を読んでおいでになりました。当方はカウンターの端から二番目の席に座らせていただきました。シェフの太田様にご紹介いただいた日替わりのメニューは3種類ございました。当方は「お手数ですが、ペペロンチーノとジュースをお願いいたします」と注文させていただきました。数分後、お料理を運んでいただきました。いつもと変わらず、大変よいお味でおいしくいただきました。太田様にお料理のおいしきの秘密をお伺いいたしましたが、「その話題はご遠慮くださいませ」とおっしゃいました。しばらくすると、男性のお客様がご来店されました。お二方で、おひよりは年齢24歳頃の長身のお方。帽子をお召しになっていらっしゃいました。もうおひよりは先ほどの方よりもやや年上の30歳程で、眼鏡をお召しになっておいででした。お二方はお仕事のお仲間のように、帽子をお召しの方が眼鏡をお召しの方になにやらご相談なさっている様子でした。

98. 注釈*

よく晴れた日の午後、昼食には遅い時間。買い物の帰りにいつも*のカフェに寄る。小さい*けれどおいしい料理*とデザート*が自慢の店。店内には音楽*が流れている。お客さんは他にひとりだけ。花*が飾られたテーブル席に座っていた。既に食事は済ませたらしく、食後のコーヒー*を飲みながら本を読んでいる。カウンターの端から二番目の席*に座る。日替わりメニューは3種類*。注文したのはペペロンチーノとジュース。数分後、注文の品

がでてきた。いつものとおりおいしい。シェフにおいしさの秘密を聞いてみるが、「内緒」とかわされる。しばらくすると、男性客がやってきた。二人組で、ひとりには24歳くらいの長身。帽子をかぶっている。もうひとりはやや年上の30歳くらいで眼鏡をかけており少し太っている。二人は仕事仲間らしく、長身の方が太っている方になにやら相談しているようだった。

(註)

- * 主人公は2週間に一回のペースでここに通っている
- * 10人も入れればいっぱいになるほどの広さ
- * 料理はパスタとつまみ類がある
- * デザートの中でもプリンは特に人気がある
- * 音楽好きのオーナー福田氏が自ら選んだ音楽を流している
- * 季節の花が常時活けられている
- * 豆からこだわっている
- * 主人公はいつもここに座る
- * 基本的にペペロンチーノ、カルボナーラ、ナポリタンの3種類

99. 絵本『これはのみのびこ』調
これは街のカフェ。

これは街のカフェに来ている客。

これは街のカフェに来ている客が買ったマフラー。

これは街のカフェに来ている客が買ったマフラーを売った店員。

これは街のカフェに来ている客が買ったマフラーを売った店員の友達。

これは街のカフェに来ている客が買ったマフラーを売った店員の友達が読んでいる本。

これは街のカフェに来ている客が買ったマフラーを売った店員の友達が読んでいる本を古本屋に売った男。

これは街のカフェに来ている客が買ったマフラーを売った店員の友達が読んでいる本を古本屋に売った男が相談に乗っている会社の後輩。

これは街のカフェに来ている客が買ったマフラーを売った店員の友達が読んでいる本を古本屋に売った男が相談に乗っている会社の後輩が買ったガイドブック。

これは街のカフェに来ている客が買ったマフラーを売った店員の友達が読んでいる本を古本屋に売った男が相談に乗っている会社の後輩が買ったガイドブックを出版した会社の社員。

これは街のカフェに来ている客が買ったマフラーを売った店員の友達が読んでいる本を古本屋に売った男が相談に乗っている会社の後輩が買ったガイドブックを出版した会社の社員が食べたカルボナーラ。

これは街のカフェに来ている客が買ったマフラーを売った店員の友達が読んでいる本を古本屋に売った男が相談に乗っている会社の後輩が買ったガイドブックを出版した会社の社員がたカルボナーラを作ったシェフ。

これは街のカフェに来ている客が買ったマフラーを売った店員の友達が読んでいる本を古本屋に売った男が相談に乗っている会社の後輩が買ったガイドブックを出版した会社の社員が食べたカルボナーラを作ったシェフが 10 年乗っている愛車。

これは街のカフェに来ている客が買ったマフラーを売った店員の友達が読んでいる本を古本屋に売った男が相談に乗っている会社の後輩が買ったガイドブックを出版した会社の社員が食べたカルボナーラを作ったシェフが 10 年乗っている愛車を整備したおじさん。

これは街のカフェに来ている客が買ったマフラーを売った店員の友達が読んでいる本を古本屋に売った男が相談に乗っている会社の後輩が買ったガイドブックを出版した会社の社員が食べたカルボナーラを作ったシェフが 10 年乗っている愛車を整備したおじさんのひとり娘。

これは街のカフェに来ている客が買ったマフラーを売った店員の友達が読んでいる本を古本屋に売った男が相談に乗っている会社の後輩が買ったガイドブックを出版した会社の社員が食べたカルボナーラを作ったシェフが 10 年乗っている愛車を整備したおじさんのひとり娘と旅行する計画をしている恋人。

これは街のカフェに来ている客が買ったマフラーを売った店員の友達が読んでいる本を古本屋に売った男が相談に乗っている会社の後輩が買ったガイドブックを出版した会社の社員が食べたカルボナーラを作ったシェフが 10 年乗っている愛車を整備したおじさんのひとり娘と旅行する計画をしている恋人と仲の良い高校の同級生。

これは街のカフェに来ている客が買ったマフラーを売った店員の友達が読んでいる本を古本屋に売った男が相談に乗っている会社の後輩が買ったガイドブックを出版した会社の社員が食べたカルボナーラを作ったシェフが10年乗っている愛車を整備したおじさんのひとり娘と旅行する計画をしている恋人と仲の良い高校の同級生と自転車でぶつかってしまったおばあさん。

これは街のカフェに来ている客が買ったマフラーを売った店員の友達が読んでいる本を古本屋に売った男が相談に乗っている会社の後輩が買ったガイドブックを出版した会社の社員が食べたカルボナーラを作ったシェフが10年乗っている愛車を整備したおじさんのひとり娘と旅行する計画をしている恋人と仲の良い高校の同級生と自転車でぶつかってしまったおばあさんと一緒にマンションに住んでいる孫。

これは街のカフェに来ている客が買ったマフラーを売った店員の友達が読んでいる本を古本屋に売った男が相談に乗っている会社の後輩が買ったガイドブックを出版した会社の社員が食べたカルボナーラを作ったシェフが10年乗っている愛車を整備したおじさんのひとり娘と旅行する計画をしている恋人と仲の良い高校の同級生と自転車でぶつかってしまったおばあさんと一緒にマンションに住んでいる孫がサークルの先輩に紹介してもらったアルバイト先の上司。

これは街のカフェに来ている客が買ったマフラーを売った店員の友達が読んでいる本を古本屋に売った男が相談に乗っている会社の後輩が買ったガイドブックを出版した会社の社員が食べたカルボナーラを作ったシェフが10年乗っている愛車を整備したおじさんのひとり娘と旅行する計画をしている恋人と仲の良い高校の同級生と自転車でぶつかってしまったおばあさんと一緒にマンションに住んでいる孫がサークルの先輩に紹介してもらったアルバイト先の上司が買い物帰りによく訪れる街のカフェ。